

は支那の回教徒(清真教徒)は光塔といふ、一日に5回(日の出、正午、午後4時、日の入り、夜)に Muezzin が祈禱の時間を信者に知らせる。ミュエジンは盲人の職業となつてゐるのは、屋根から女の部屋を覗かない爲めだといふ。小さいモスクではミュエジンが短いことをいふが、大きなモスクでは長い祈禱文を節をつけて唱へる。

mosque はアラビヤ語の masjid, mesjid (禮拜の場所) で sajada (ひれ伏す、祈る)より來た(集會の場所を意味しない)。masjid が古いイタリヤ語 meschita となり、現代イタリヤ語 ^{モスケヤ}moschea となつた。スペイン語では mezquita, ポルトガル語では mesquita と綴る。現今の mesjid は private の禮拜所で、建物も小さく、數も少い。通常これを zawiya といふ、nook とか retired place を意味す。旅客の目を惹かない原始的な禮拜堂である。

次の形は ^{ガミ}gami で、回教の金曜の祈禱(guma)から來た言葉で、會衆の禮拜場 congregational mosque である。多數の人を收容できる廣場が特徴である。周圍の arcade で先生が koran を教へるのは secondary のことで、dome も minaret も發達してゐない。

私はこの古い type のモスクに興味を有し、カイローの南部即ち Old Cairo に Gami Amr=Amr ibn el Assi Mosque=Old Mosque (XVII. 1)を見物にいつた。アムルがこのモスクを建て

1. ibn=son

たのは 643 年即ち Fostat を興して 2 年後である。マホメットの死が 632 年であるから、僅かその 11 年後のことである。當時は現今のもの約 4 分の 1 (65 m×18.2 m) で、屋根の低い家で數箇の明り取があつた。アムル將軍自身金曜の禮拜を司つた。會衆が増加するにつれ、狹隘を感じ、672 年改築し、そのうち minaret の先祖であらう、稍、高い部分が家の一角に發達した。827 年に Abdallah ibn Tahir が先づ今日見るもの大きさにした。1168 年に十字軍の侵掠を恐れて、焦土戰術に出でたときは火災を免れた。爾來廢頽の一路を辿つて來たが、信者は最初の禮拜堂のあつた地を神聖視して祈禱に集つた。1298 年に Murad Bey が改築したのが今日のものである。現今は毎週の金曜の禮拜には用ゐず Ramadan (回教の第 9 月で斷食の月)の最後の金曜日だけに使用する。この時には皇帝も群集の中に居られるといふ。また 1825—8, 1898 年に雨乞ひの爲めこのモスクが利用された。中央の廣場の西側の colonnade に 2 本の柱が、他のより間隔の狭いがある。正直な人だけがその間を無難に通れるといふ、一種の神判 (ordeal) である。嘗てトルコの兵士がこの柱の間を抜けようとして瀕死の難に遭つたといふ。拜殿に對した側に大理石の柱が鐵柵内にある。アムルがこのモスクを建立するとき、この柱がメッカから飛んで來たといふ。これにマホメットの鞭 (kurbash) の痕がある。この石が古郷メッカを去るに忍びず、逡巡してゐたとき、マホメットが鞭で督促して飛ばせたといふ。西北の隅

に血痕がついてある柱がある。患者が治癒を祈つて舌で擦つたら、柱から血が迸り出たといふ。こゝにある井戸の水はメッカと交通してゐるといふ。

アムル・モスクに近く Shari Mari Girgis に 1910 年開館の Coptic Museum がある。私のこれを参観にいつたとき閉館で、内部を見る機会がなかつた。内容は以前 All-mo-allaka Church = the Hanging Church (ローマ皇帝 Trajan の造つた城砦の bastion を變更して造つた教會)にあつたものだといふ。

アムル・モスクの東北約 2.5 km, Citadel の西方約 200 m にアムル・モスクに次いで最古といふ、トルコ時代の Tulun Mosque = Ahmad ibn Tulun Mosque (XVII. 2) を参観した。アブラハムがイサクを犠牲にしようとした所と傳へてゐる。Kalet el Kabsh (牝羊の城) の上に總督 Ahmed ibn Tulun が全部新材料で建築した宏大な禮拜堂(876 年起工, 878 年竣工)である。耐火の目的で大理石の柱を廢し、クリスチャン (Copt) の囚人の設計により煉瓦(アドーベにあらず)と木材を用ゐて柱としてある。arch の中央の先端が尖つてゐるのは、新に introduce された建築様式である(アムル・モスクのアーチと比較されたし)。建築當時には minaret も dome もなかつた。高い塔の如き部分、洗手鉢 (ablution basin) の上の dome は、後世の追加に過ぎない。

1. Ahmed ibn Tulun は 869 年に 33 歳のときカイローに遣はされ、治世良しきを得てエジプトの隆盛を招いた總督である。

有名なモスLEM大學のある el Azhar Mosque (エル・アザールは the Resplendent) (XVII. 3) は Tulun Mosque の東北約 2 km Shari el Sikka el Gedida から一寸南に入つた所にある。Tulun 家は亡び、エジプトはバクダッドの Caliphate の 1 province となつた。ローマの奴隸であつた將軍 Gohar が 969 年にカイローの基礎を置いた。翌 970 年 3 月 3 日に壯大な congregational mosque を起工し、972 年 6 月 24 日に竣工した。アムル・モスクもトウルン・モスクも共に Fostat にあるが、これはカイローに於ける最初のモスクである。18 世紀と 19 世紀の前半に數回修繕した爲め、原建物は殆ど残つてゐない。このモスクに 988 年以來、回教の有名な大學が設置された。學生には授業料、食費もなく、その上小使錢を給與される。2 階は寄宿舍であるといふが見せなかつた。裕福な家庭の學生は、市内に宿舍してゐるといふ。好學の人が集まるので、年齢に制限がない。以前は試験もなかつたが、今は 7 月に試験を行ひ 3 ヶ月の休暇があるので、各家に歸る。全部で 17 年かゝるといふ。コーラン及び回教神學研究が無論主眼であるが、これに關聯して幽玄な metaphysics (cosmology や人間の起原等も含む)、法學、文法、要するに回教の學藝一般に通ずる勉強で、同時に徳を磨くことを力める。1, 2 年すると回教の裁判所の審判事になれる。これになれば、生活に必要な物資を信徒から支給されるので、一生生活の問題に悩まされることはない。教授は以前は無報酬で、寫經で僅かの金錢を得てゐたが、現在は nom-

inal な俸給を得る。學生の数は約 15,000。エジプト人が多数を占めてゐるが、アラビヤ人、スーダン人、イラン人、インド入がある。日本人も 2, 3 名あると聞いた。學生は地方別樂團生活をする事、東京にある縣の寄宿舎、或は Uppsala 大學の“Nation”と同様である。portico の下に藎を敷き、アグラをかいて教授から教を受ける (XVII. 5)。こゝも國別になつてゐて、各區劃を riwak (partition) といふ。

次に Saladin によりモスクの革命が來た。Saladin=Salah ed Din Yusuf ibn Eynb (1138—1193) が伯父に従つて 1164 年にエジプトに攻め入り、伯父の死後 1169 年に至つてエジプトに權威を振つたが、Fatimite Caliph の最終の代が世を去るに及んで Saladin はエジプトの王 (Sultan) と號するに至り、大に宗教、文藝の振興を行つた。回教の 4 派に對し、サラディンは各派が各自の神學校を建て反目相剋の弊を未然に防ぐ爲めに、從來の禮拜所 gami に 4 つの transepts を造り、4 つの神學校 (medresa) を附屬せしむることとし、同時に墓を建物の内に入れ、その上に dome を追加した。dome はエジプト本來のものでなく、バビロンやペルシヤの墓の被ひをサラディンが採用したものである。今日のカイロ市を飾つてゐるモスクは、それ故、禮拜所+神學校+墓で、12 世紀以後の新様式の建築産物である。

Sultan Hasan Mosque は代表的のモスクで旅客がよく見物するものである。カイロ市の中央 Ezbekiya Garden から東

南約 2 km, Shari Mohamed Ali を進むとこのモスクがある。Tulun Mosque の東北約 800 m である。Sultan Hasan は在位 1347—1351 年。モスクは 1356—1359 年に建立。最初は minarets を 4 つつける計畫であつたが、第 3 が終るや否や、その 1 つが倒れ、約 300 の學校兒童が下敷となつて死んだ。33 日後に Sultan Hasan 自身は殺害された。カイローの誇とするこのモスクは、シリヤの建築家がサルタンの命により造り出したものであるが、餘りにも壯麗宏大なるため、同様なものを再び他所に造ることを虞れ、サルタンは建築家の手を切り落したといふ。

道路の北側にある石段を昇つて、入口から 3 回曲ると sahn (court) に出る。大きな會衆の爲でないから court は大きくない。中央に八角形の mida-a (fountain) が大小 2 つある。禮拜前に顔、手足を清めるためである。信者は 3 たび顔を洗ひ、“神よわが顔を日の光で白くしたまへ、神の敵の如く黒くしたまうなかれ”の祈りをアラビヤ語で 3 たび唱へる。靴はぬぎ、底と底とを合はせ、左手に持ち、右の足から踏み入れるのが禮法ださうだ。然し參觀の異教徒には、これを強ひない、只靴に被ひをかけて入る。禮拜堂の宏壯で莊重なるは感歎の至りである。court にも禮拜堂にも所々にあぐらをかいて Koran で默讀してゐる人がある。なかには山羊の毛皮を敷いてゐるものもある。arch は 4 つあつて高さ 29.5 m, 幅 23 m, 西南にメッカに面した kibra 又は mihrab といふ niche があり、右に教

壇後にサルタン・ハサンの墓 turbeh を安置してある室がある。餘りにも質素で、數世紀の塵がうづ高く積つてゐる。dome の頂上まで 59m。奥にもう一つ kibla がある。minaret は 2 つある。南のは 93.5m で、カイロー最高のミネレットである。材料はギゼーの小ピラミッドから得たといふ。メヘメット・アリ時代に Citadel から受けた銃丸の入つてゐる外壁を案内者が示す。

サルタン・ハサン・モスクの隣に Rafee Mosque がある、内部は參觀しなかつたが、Sheik Rafee といふ蛇宗 Refaiyeh Brotherhood の開祖の墓が中にあるといふ。

サルタン・ハサン・モスクの東に近く 81m の高地に Citadel¹ がある。カイローの東に聳える丘陵 Jebel el Mukattan (275 m) の一角にサラディンの造つた自身の住居とした城で、1850年までのエジプト王の居城であつた。現在は英國とエジプトの兵營、兵器庫がある。サラディンの甥 el-Kamil の位に即いたとき 1176—77 に起工、1207年に竣工。ギゼーの小ピラミッドの石材を利用して造つた。

この城の中にナポレオン一世が 1798年に占領當時居間として使用した室がある。壁には粗雑なる畫があり、如何にも田舎臭い感がある。窓からの眺望は絶佳で、カイロー市も一目に収める。10數km 先のスフィンクスまでも見える。昔ナ

1. 15世紀の半、歐洲の有名な綱渡りが、この城からサルタン・ハサン・モスクのミネレットに綱を張つてうまく渡つたとの記録がある。

イルの水を引いた水道も見える。壁にはナポレオンの戦争の際の弾丸の痕があり、弾丸そのものも埋つてゐるといふ。

• 1811年3月1日にメヘメット・アリが禍根を一掃する爲め、470名の Mamelukes を招待し、狭い螺旋状の石段を馬で昇るときに、兵を伏せて射殺し、一擧に殲滅を行つた。

1人は馬を躍らせて城壁から跳び下りた。馬は死に、人は生てゐた。¹

城の中に Mehemet Ali Mosque (=Alabaster mosque) がある。ピラミッドの casing (表面を被つてゐたアラバスター) を剝がし利用した。高い minaret があり、カイロー中最も壯麗なモスクである。メヘメット・アリが 1824年に起工、Said Pasra が 1857年に完成した。實に33年を要した建物である。ギリシヤの建築家が、イスタンブールの Nuri Osmanieh Mosque に摸したものといふ。その禮拜堂に入ると、實に壯麗目を奪ふジャンダリエが天井から垂れ、floor には厚き赤い雄大な carpet が敷きつめてある。現今でもエジプト皇帝が年に6回禮拜をこゝで守られるといふ。女の信者の gallery もある。19世紀の産物で餘りにも華麗で cheerful でサルタン・ハサン・モスクに比すると、素朴勇健さが缺けてゐる。禮拜堂といふよりも ball room の感がある。太平のときに武器が華美に流れ、裝飾化すると同様である。この禮拜堂も宗教的には退化

1. 當時の光景はニューヨークの Metropolitan Museum にある Alexandre Bida (1813—95) の有名な水彩畫によく描いてある。

と見られる。メヘメット・アリは豪傑であつたが、國費を濫費し、エジプトを英佛の手に渡した消息を、このモスクが物語つてゐるやうに見える。

エズベキヤ遊園地とオペラ・スクウェア

市の中央にある遊園地 Ezbekia Garden は、Sultan Kait Bey の軍の將 Emir Ezbek ibn Tutusk の名により命名された、Ezbekia 池を1870年に變更したものである。廣さ 8.3 ha。プールも grotto もある。熱帯植物を多く植ゑてある。そのうちに sausage tree *Kiglia pinnata* (ノウゼンカツラ科)もあつた。園内にヤツガシラ hoopoe *Upupa epops* が地面で昆蟲を食べてゐた。

エズベキヤ遊園地に近い Opera Square (XVII. 4) に Mehemet Ali の養子で Ismail Pasha の父である Ibrahim Pasha (1789—1848) の騎馬像があり、後に Opera House がある。Ismail Pasha (1830—1895) が、エジプトにいい音楽がないことは、高貴の外賓を迎へる際、國辱と考へたのか、Giuseppe Verdi (1813—1901) に依頼してオペラを作曲してもらつた(1871年)。できたのが“Aida”で4,000ポンドの御褒美が出たといふ。歌詞は Ghislanzoni の作である。1871年12月14日にカイローのオペラ・ハウスの開館に當り、初めての演奏があつた。アイダと同時にヴェルデーにエジプトの國歌を作曲して置いてもらつた。歌詞はまだできてゐないので、73年後の1942年に100ポンドで募集した。

ヘリオポリスのオベリスクと聖母樹

カイロー市の東北の郊外、Matarieh に、昔 On=Heliopolis(太陽の都)といふ學藝の盛んな市街があつたが、アドーベの家であつた故、今日は全く消え失せて只一本のオベリスクが残つてゐる。この町はヘブル語で Beth-Shemesh(太陽の家或は temple を意味す、中世には Ain Shems といつた。舊約聖書エレミヤ書43章13節)といつた。西紀前約2200年に、第12王朝の第1王 Amenemhet 1世が、宏大な temple を立て、太陽を崇拜した(その temple の priest は Potipherah で、その娘 Asenath が Joseph の妻になつた。創世紀41章45節)。彼の子で第2の王として位に即いた Sesostris=Usertsen 1世が2本のオベリスクをその temple の門前に建てた。その一本が4000有餘年の時の勢力を defy して今日淋しく立つてゐる(XVII. 6)。高さ21.6m、赤色を帯びた角閃花崗岩 Plinius のいふ syenite (Συγγη は Aswan の古名)である。現今いふ syenite ではない。

obelisk はアラビヤ語では messallah、エジプト語では tekhen、ギリシヤ語では *obeliskos* (肉を焼く串を意味す)、ラテン語では obeliscus で temple の前の記念碑である。石材を切り出すには、一列に穴を穿ち、木釘を打ち込み、それを水で膨脹させて、大體の形に割つたといふ。花崗岩を磨く術は、長らく lost art であつたが、1820年にスコットランド人によつて再び發明された。このオベリスクの四面に hieroglyph がある。その意

味はわからないが、上の鷹 sparrow hawk, báz *Accipiter nissus* は深く彫刻され、雄健實に愛すべき形をしてゐる。オペリスク¹はパリー、ロンドン、ローマ、ニューヨークでも見たが、こゝのは30世紀以上も位置を變へずに、立つてゐるので感を深くする。

マタイ傳の2章13,14節にある、ヘロデの難を避けて、Holy Family がエジプトに逃げたとき、暫く休憩したとか、滞在したとかの傳説から Virgin's Tree がオペリスクの近くにできた。その木は sycamore tree *Ficus sycomorus* (桑科) で古木ではあるが、1672年以後に植ゑたものである。近くに井戸があり、幼イエスの體を洗つた所といふ、他の井戸は鹽分があるのにこの井戸だけは淡水である。sakyeh (車) を廻して、水を汲んで呑めるやうになつてゐる。パレスチナからか、どこからか移植した balsam tree *Commiphora opobalsamum* = *Balsamea meccanensis* (橄欖科) が一本ある。これは幼イエスの襦袢から垂れた水滴からはえたといふ。

1. ヘリオポリスにあつたオペリスクは 1819 年に Mehemet Ali がロンドンに贈り Thames embankment に立つてゐる、高さ 21.4m。1877 年に Ismail Pasha の贈物としてニューヨークに移されたのは、Central Park に立つてゐる、高さ 22.8m この 2 つは Pharoah's Needle、後には Cleopatra's Needle と呼ばれる。ローマに 12 オペリスクスがあるが、San Pietro の廣場にあるは、矢張りヘリオポリスからので Caligula (12—41 年) がローマに移したもので、27.6m。パリーの Place de la Concorde に立つてゐるのは、Luxor から來たもので、Mehemet Ali が 1831 年に贈つたもの、高さ 24.6m。皆角閃花崗岩で Werner のいふ syenite でない。

2. 米國ではスズカケの木 *Platanus* (スズカケの本科) を俗に sycamore tree といふ。

ギゼーのピラミッドとスフィンクス

Gizeh 或は Giza はアラビヤ語の skirt で、ナイルの西のリビヤ沙漠(東はアラビヤ沙漠)の縁を意味す。ナイルは元は現今のより非常に幅が廣かつたが、沖積平原が西岸には廣く(東岸



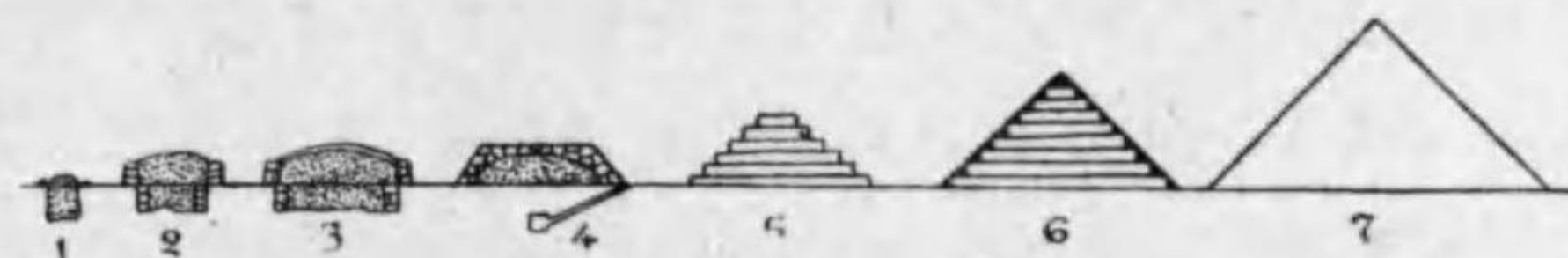
第 20 圖 カイロー、ギゼー、メンフィス、サッカラ
附近 點の打つてある部分はナイルの沖積平原
1:400,000 著者模寫

には狭く)発達したために狭くなった。カイローから西岸の沖積平原を通り過ぎると、第三紀の中始新紀のギゼー臺地があり、ナイルが氾濫しても水が達しない。こゝを墓地に撰定して、ピラミッドを建てたのである。ピラミッドはカイロー市から約 12 km で、自動車、バス(定期のもの、ホテルのもの)、電車(48 ミリメートル 1 時間)、汽車でも見物に行ける。ピラミッド附近は、砂がザクザクで、團體旅客には駱駝に乗せ、エジプト氣分を味はせることになつてゐる。然し必ずしも駱駝に乗らずとも、自動車でピラミッド近くまで行き、ゆるゆる近傍を歩いた方が面白い。日中でも頭さへよく保護すれば、たいしたことはない。第 1、第 2、第 3 と 3 つが東北から西南に並んで立つてゐる。建造の時代、大きさもこの順序である。第 2 のが實際より大きく見えるのは、第 1 のものより基礎臺地が少し高いからである。第 2 のは頂上近く casing (表面を被つてゐる石板)が残つてゐるから、他の 2 つと容易に區別できる。第 1 のは中に入つて見たが、第 2、第 3 は外から見ただけであつた。

ピラミッドの雄大さも、實に驚くべきもので、ギゼーの第 1 ピラミッドの如きは、底面は 6.1 ha (約 15,900 坪) ある。然しそれにも増して驚くべきは、アドーベ時代から、石を切り出し、石造建築を造りだしてから、僅に 150 年(西紀前 3050—2900 年)間にピ

1. 駱駝 1 匹にアラビヤ人が 1 人附いてゐる。獨峰駝で、1 つの瘤の上に乗るのだから、中々むづかしい。鞍の前後或は前だけに 20 cm 位の棒があり、それにつかまり墜落を防ぐ (XVIII.2)。

ラミッドを建築するまでに、技術が急激な進化を遂げたことである。即ち石工術を發明した人の曾孫の代に至つて、この偉大なピラミッドが出現したわけである。當時青寫眞はなかつたが、建築家が數學的正確さを以て、この大建築物を創造したのである。生物進化の過程に、急激な進展を見た時期があつた。古生物學者はこれを expression point といふが、エジプトのこの時代は、人類文化史上の expression point といへよう。



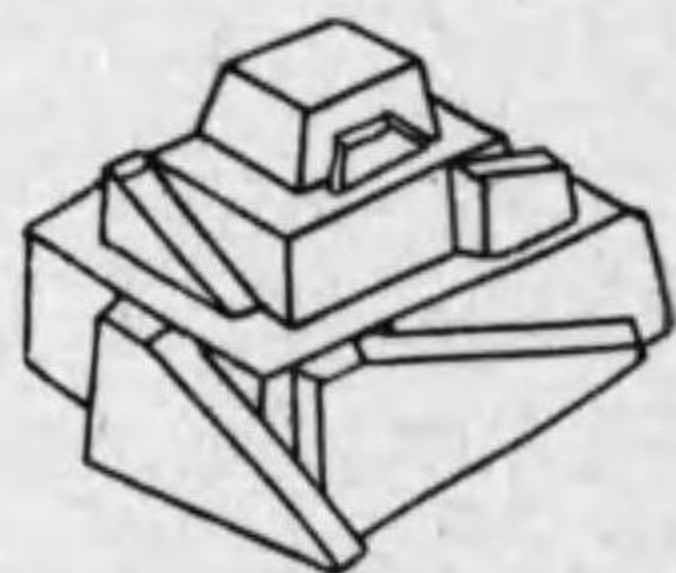
第 21 圖 ピラミッドの發達順序 1. 砂葬; 2. アドーベの壁; 3. 石の壁; 4. マスタバ。棺室が下にある; 5. ステップピラミッド; 6. 階段が石で滑にされた; 7. 完成のピラミッド 著者模寫

ピラミッド(アラビヤ語の haram)は、エジプト語の per-em-us (coming out in breadth) より來た。後に建築物の名となつた。ギリシヤ語の πυραμυς, 複數の πυραμιδες から英語の pyramid となつた。建設は第 3 王朝から第 12 王朝までにされた。ピラミッドは總計 75 現存してゐる(なかには建築中のもある)。ギゼーのピラミッド(Haram el Gizeh)を中央にして北には Abroash, 南には Zawut el Aryan (基礎工事のみ), Abusir (第 5 王朝), Sak-kara (第 3、第 6 王朝), Lisht, Dahshur, Al-Lehan Hawarch (以上 4 つとも第 12 王朝)。建築の時代は約 500 年間で、西紀前 2900 年から 2400 年頃である。

ピラミッドは王が存命中、自身の墓として築造を企てたもの

で、中には建築半にして王の死んだのもあつたらう。エジプトでは、元來、砂葬で沙漠の砂を掘り、その底に死體を左側を下にし脚を縮めて、横へ砂で詰め、表面に石を環狀に列べたものであつた。後に木片を縦に立て、死骸を入れる穴と周囲の砂とを區別するやうになる、やがて木片はアドーベと變り、次に石を煉瓦の如く切り、壁を造つた。石の壁は大きくなり、地表に少し高く盛りあがり、mastaba (アラビヤ語の bench) となつた。ギゼーのピラミッドの周邊に多くこれを見る。マスタバが益、高くなり Sakkara にある step pyramid となり、後に段と段との間が fill in され、終に所謂ピラミッドとなつた。

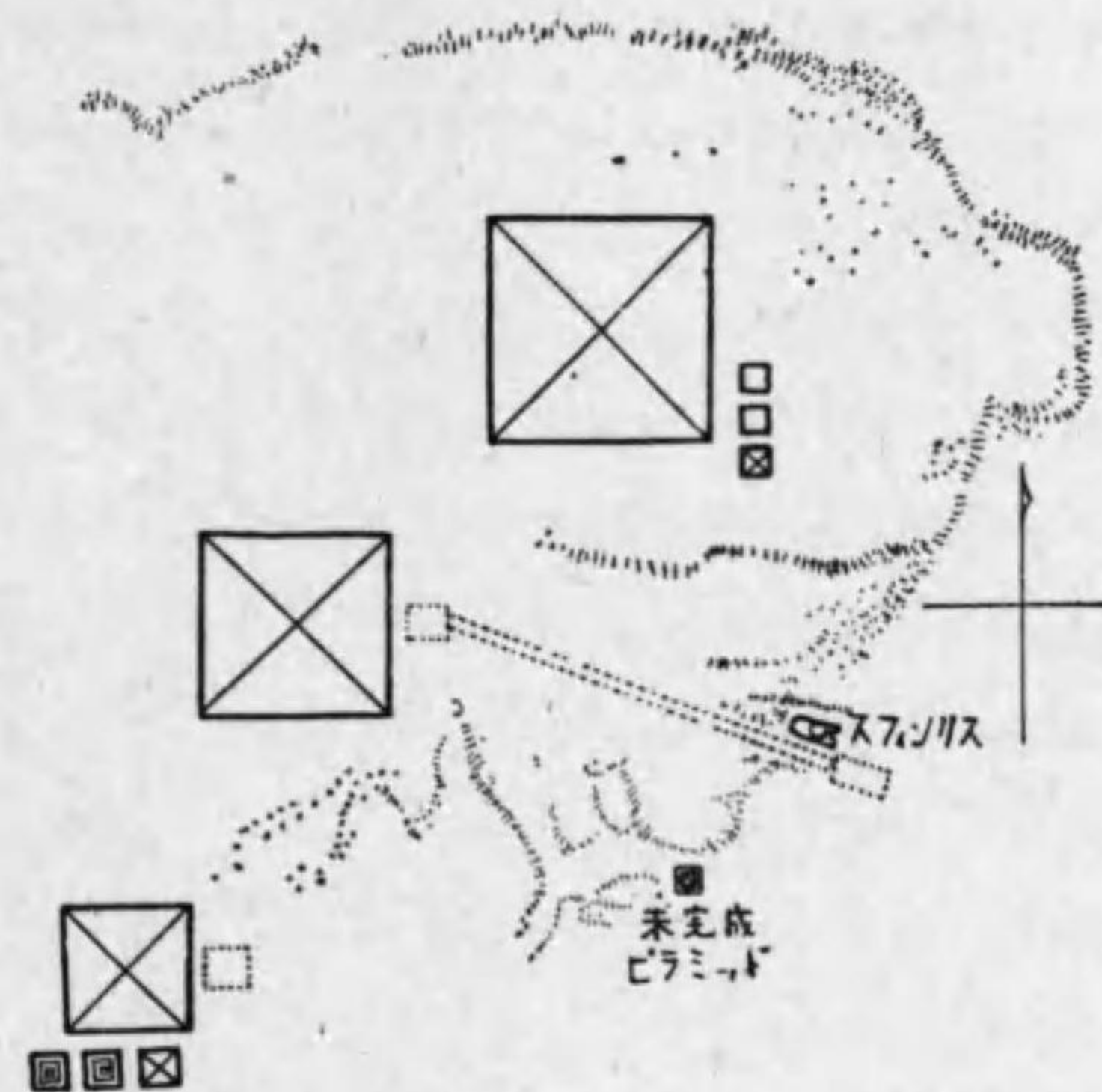
ピラミッドの建築方法は、現存してゐる、未完成のものからわかる。石材を切り出し、ナイルの氾濫期に船で blocks を運び來り、地ならしをした上に、順次排列し、step pyramid となし、その段にアドーベの ramp (斜面) を造り、blocks を引きずりあげた。



頂上まで積み上げると段 (step) を石 block で fill in したものである。alabaster や花崗岩を磨いたものを表面に列べて、化粧煉瓦の如く casing とした。casing の石と石との磨り合せ (fitting) (XVIII. 5) は實に正確である。内部には豫めミイラを入れた棺を納める室を設計し、棺室の路に西に戸を半あけた如く彫刻した石板 (false door) を入れたから面白い。靈が西方へ逃げ出す

第22圖 未完成なピラミッドから見て、ピラミッド建築の方法を示す圖
著者模寫

と考へたためであらう。入口は北にあるが、盜難を恐れ、巧妙に外部より見えないやうにしてある。ピラミッドは皆東を正面にして造つてある。即ち東側に死者に對しての供物を備へる場所や、禮拜をする temple がある。儀式は西面して行ふのはユダヤ教でも同様である。



第23圖 ギゼーのピラミッドとスフィンクス
約 1:16,000 著者原圖

a. 第1ピラミッド 第1ピラミッドは現存のピラミッド75のうち最大なもので、西紀前約2900年に造られた。3つの大ピラミッド中、最北に位し、第1ピラミッドの casing はカイローの Citadel や mosque の爲めに剝ぎとられ、僅に北側に2,3残つてゐる (XVIII. 5)。British Museum に運ばれたものもある。駱駝

に乗つてゐたときに alabaster casing の破片を砂中に見たが、拾ふことができず、残念であつた。 casing が現存したとすれば、底面の1邊でも7m 今日より長いことになる。頂上には9.85m 平方の水平の面がある。屈強な人はアラビヤ人に押し上げられ、15分で頂上に達するといふ。頂上からの眼界は遙に45kmの半径の圓周に及ぶ。全體で2,300,000 blocks が210段(courses)に積み重ねてある。下部の一部だけ mortar を使用してあるが、他は mortar なしに積み重ねたものである。石材は全部化石を有するかと思つたら、化石の見えない石灰岩もある。ピラミッドから數m隔つた露頭に多數の化石(珊瑚、ホホヅキガヒ、有孔蟲等)を見る。時代は第3紀の中始新紀である。銃を肩にし黒衣、黒フェズの巡査が旅客を保護すると同時にピラミッドを保護してゐる。ピラミッドの周圍に散在する建築當時の débris を拾ふのは何とも言はない。有孔蟲の化石(XIX. 1)中、大形なものは俗に Pharaoh's pennies といひ、直徑30mmにも達する。最も普通なのは *Nummulites gizehensis* で小形のは俗に Pharaoh's beans といひ *N. curvispira* である。

第1ピラミッド(XVIII. 6)入口は北側の下から18mの所にある。幅1m、高さ1.27mの通路26°41'の傾斜で下る。電燈がついてゐる。案内者は“Lean back”, “Mind your head”, “Give me your hand”を連發す。19.6m進むと26°41'の傾斜で上る

1. Turra (22 km 隔つた) と Mukattan (18 km 隔つた) の丘から石材を切りだした。現今もその石材をナイルまで引きずつた路が残つてゐる(第20圖)。

(上らずに進むと、入り口から96mで地下室に達するさうであるが、下つては見なかつた。地盤を掘つただけで地下34m) 40mで道は水平になる。それから39m進むと Queen's Chamber がある。間口6.15m、奥行5.6m、高さ6.6m。石材の fitting が完全で1枚の板のやうに見える。皇后の室から戻つて元の昇り道まで歸り、上昇を續けると極淺い室(great hall)に入る。長さ51m、高さ9.2m、幅僅かに1mと0.84mの所とある。それから水平となり、小さい antechamber を通り抜け、King's Chamber に入る。南北は5.6m、東西は11.25m、中央に蓋のない赤花崗岩の棺がある。王室の上には5枚の大きな花崗岩の板とその上に石灰岩の屋根があるさうである。王室の天井は9枚の花崗岩よりなる。地震の爲めか割れめがある。南北には20×15cmの空氣抜きの穴がピラミッドの表面に達する。ピラミッドの東側に禮拜所(funerary temple)があつたのであらうが、今日では單に玄武岩の pavement だけ残つてゐる。矢張東側に王女の墓として3つの小ピラミッドがある。

b. 第2ピラミッド 第2ピラミッドは第1の西南215mにある。第1のを造つた王の次の王の建造で、建築上の進歩を見る。頂上近くは元の casing がそのまま残つてゐるので、他のと容易に區別できる。第1のと高さも殆ど等しいが、高く見えるのは土臺が第1のより高い所にあるからである。第

1. 970 km 南から運んで來た。

1 のより石材は劣つてゐるが、赤花崗岩を多く用ゐてゐる。内に收めてある王棺は第1のより大きいといふ。1818年3月20日に Belzoni が開いたとの tablet が入口にある。東側には pyramid temple があり、食物、飲み物、衣服等を祭典の際に献げたものと見える。それから 400 m の石敷の道があり、その先にナイルに近く valley temple がある、1853年に Mariette Pasha の発見にかゝる。花崗岩の6室よりなる 15.8m²。その近くに第2ピラミッドを建造した王を獅子の形に造つたスフィンクスがある。内部は第1ピラミッドと全然異つてゐる。しかもそれより進歩せる點は temple の發達とその内に明層(あかりとり clearstory, clerestory とも綴る)があることである。

c. 第3ピラミッド 第3ピラミッドは第1、第2に比すると、遙に小さい。第2ピラミッドを造つた王の次の王の建設にかゝる。下から 16 courses は磨いた赤花崗岩で積んである。中に玄武岩の棺があつたが、1838年英國に運ぶに海に失せたといふ。Caliph Al-Mamum が寶物を探す爲に外部の casing を皆剝がした故、遠方から望むと、表面が滑でない。

第3ピラミッドの南に、東西に並んで3つの小さいピラミッドがある。西の2つは step pyramids である。第3ピラミッドを建てた王の近親のものであらう。

第3ピラミッドの西南遙に1つ小さいの見える。

	エジプト名	建設者	高さ	底面の1邊	稜の長さ	稜と底面との角度
第1ピラミッド "Great Pyramid"	Ikhet (the Glorious)	Khufu	148.3m ¹	246.7m	186 m	51°50'
		Kheops (ギリシヤ名)				
第2ピラミッド	Uer (the Great)	Kha-f-Ra	147 m	230 m	185.25 m	50°20'
		Kephren (ギリシヤ名)				
第3ピラミッド	Hor (the Upper) ² 又は Neter (the Divine)	Men-kau-Ra	70.5 m	114.5m	86 m	51°
		Mykerinos (ギリシヤ名)				

スフィンクス (XVIII. 3; XIX. 3, 4, 6, 7)

sphinx は σφιγγειν (絞め殺す) から來た。謎をかけて、それが解けないと、その人の喉を絞めたといふギリシヤの物語にある、首は女、體は獅子、尾は蛇といふ怪物がスフィンクスである。ギリシヤ人がエジプトを旅行し、自國のスフィンクスに類似はしてゐるが男性である怪物の像を見て、同名で呼んだ。男性なるが故にヘロドタスは Androsphinx といつた。

ギゼーにあるスフィンクスは第2ピラミッドの附屬物 (XIX. 3) で、それから約 450 m 東にある。第3紀の中始新世の岩層を掘り下げ living rock を彫刻して造つてある。第2ピラミッドの建設者 Kephren を太陽の神 Harmachis の權化 theophany とし、首を丁寧に彫り、體を獅子の蹲る像としたもので、ギリシヤ

1. 丸ビルの高さ (33m) の 4.5 倍; 東大講堂の高さ (40m) の 3.7 倍。

2. 第1、第2より高い所にある故に。

のスフィンクスとは何等関係がない。前足は別に、石材を積み重ねて造つてある。頭には wig を被り、王を表す爲めの uraeus (蛇) と髯があつたが、兩者共にロンドンの British Museum に持つていかれた。頭部には有孔蟲の化石が特に多い。建造當時は表面が平滑で朱色に塗つてあつた、しかし強烈な sandstorm のために、比較的軟かな部分は磨りへり、堅い部分だけ著明に残つてゐる。墜落を防ぐために、頭の左右にセメントで、補強工事がしてある。製作の年代は不明であるが、第2ピラミッドのできた後であることは確である。鼻は mamelukes の射撃の的に利用されて、無残にも缺けてゐる。砂に埋もれ易いので、數回に亙つて周囲の砂が除去された。1816年には Caviglia は砂を掘り hieroglyph のある石板 (stele) を発見した。1926年には大々的な砂掘りを行ひ、前足及び全體を露出するに至つた。

想像の眼を 4,800 年の昔に馳せ、ギゼーの一角に朝日の昇るときに立つたとする。渺茫たるリビヤ・アラビヤの沙漠は黄褐色に、ナイルは廣く銀の帯をなし、ピラミッドは薔薇色に輝いて高く碧空に聳え、朱色のスフィンクスが下に横つてゐる光景は、實に言語に絶するものであつたと思ふ。

スフィンクスの近くに石敷の道 (XIX. 5) が、近時發掘されてゐる。第2ピラミッド附屬の祭殿を結び付けるものであらう。

1. uraeus は asp=cobra *Naja haie* (アラビヤ語で *nasher* 眼鏡模様がなし) の形に造つたもので、王の殺戮の威力を表はす。

この附近にゴミムシダマシ科 Tenebrionidae の甲蟲 (XIX. 2) *Pimelia angulata* が小石の下に棲んでゐる。體長 26 mm 鞘翅純黒で後翅は退化してゐる。蟻、蜂 (wasps) もかなりゐる。夜間は露が多少あるので生きてゐる。

この附近を歩いてゐるうちに、晝食の時間となつたので、Casino de la Vue des Pyramides で、ベンチにかけ al fresco で簡単な食をとつた。傍にユーカリの大木があり、枝に五位鷺 night heron, uak sagar *Nycticorax griseus* が siesta を貪つてゐた。

	エジプト名	高さ	長さ	頭の 高さ	顔の幅	耳	鼻	口	前足の 長さ
スフィンクス	Hu Aboul Howl (the Father of Terror)	21.6m	61 m	98.5m	4.27m	1.47m	1.7m	2.48m	16.4m

メンフィスとサッカラ

ギゼーのピラミッドから南に 16 km 下ると Sakkara (或は Saqqara と綴る) に達する (第20圖 177頁)。カイローから 38.5 km。アラビヤ語で鷹の巢を意味するが、メンフィスの復活の神 Sakar に関係のある言葉であらう。長さ 7.3 km, 幅 0.4 km の區域で、第3紀の上始新世の ridge の1角にある。約 5 km 東に下るとナイルが流れてゐる。サッカラとナイルの間に舊都 Memphis があつた。地形から見ると、ナイルの沖積平野中の小島 (南北約 3 km, 東西 2 km) である。サッカラは實にメン

フ、ス市の墓地であつた。

サッカラにピラミッドの原型 step pyramid があると聞いてみたから見物に出掛けた。ナイルの西岸に沿ひ南下右方に Helwan と Badreshein ^{バドレシエン} なる、かなり大きな市を見た。この邊は嘗て Memphis の都のあつた所である。棗椰子の林を過ぎる。幹に土が附いてゐるのは、強い風に吹きつけられる爲めであらう。アドーベの民家が所々にある光景は 4000 年前に歸つたやうである (XX. 1)。10 歳位の子供が、小さな發掘品を賣りに集つてくる。中には時々本物もあるといふ。米國の旅客からもらつたと見え、野牛のついてゐる銅貨をエジプトのに換へてくれといふ。"good morning" "good afternoon" "good evening" "backsheesh" と外國の客と見れば、誰にでもこれを連發して貨幣を要求する。實に愛すべき子供達である。

Mit-Rahineh 村に近く棗椰子の林に Ramses 2 世 (第 19 王朝西紀前 1301—1234 年) の巨像 (XX. 2) が 2 ケ所石で支へられて横つてゐる。立像として造つたものである。1888 年の發見で、黒花崗岩で長さ 8.5m、頭の先に 2.1m の頭端が置いてある。頭に 4 角の穴があることから見ると、別々に造り、後に接ぎ足したと見える。肩、胸、帶、bracelet に王の名が刻んである。

木造の粗末な屋内にもう一つの石灰岩のラムセス 2 世の像 (XX. 3) が横つてゐる。これも立像として造つたものであ

1. 67 年間王位にあり Hittites と戦を交へ、多くの建築物を残してゐる。ミイラは 1881 年に發見。

る。屋内の周圍にガレリー様に板が張つてあつて、參觀者がこの像を見下すことができる。1820 年に Caviglia と Sloane が發見、長さ 13.3m、右の肩と帶に王の名がある。2 つの鷹の頭の附いてゐる、劍を帶び、手には王の名が刻してある卷物を持つてゐる。

近くに alabaster のスフィンクス (XX. 4) が地面の凹みめにある。雨後は池となるであらう。額には uraeus、顎には下端の巻いてゐる髯がある。顔も完全に保たれてゐる。長さ 8.5m、高さ 4.6m。1912 年に發掘された。實に優麗な作品である。

西方に進み Mit-Rahina の村を過ぎ、椰子林を 2 つ通ると高地に上り、リビヤ沙漠の東端にあるサッカラ沙漠に到る。サッカラには 1881 年發掘した 11 のピラミッドがある。Unas と Teti のピラミッドの間に有名な step pyramid (XX. 5) がある。この近傍はザクザクした砂で歩行が困難であるから、驢馬に跨つて見物した。

西紀前約 3000 年、首都メンフィスに住んでゐた、第 3 王朝の第 2 の王 Zoser (= "Holy")¹ の墓として王自身建造したもので、最古の石造建築物である。マスタバを六つ積み重ねたと見ればよい。ピラミッドの先祖である。高さ 64.5m、長方形²で

1. Department of Antiquities の一員 C. M. Fish が近頃サッカラからこの王の等身座像を發見した。これが王の最初の座像であるといふ。
2. 長方形であることがマスタバの倣を存してゐる。

南北の底邊は 115 m, 東西の邊は 130 m。6 段で、段の幅は 2—2.3 m。第 1 段の高さは 12.5 m, 第 2 段は 11.8 m, 第 3 段は 11.2 m, 第 4 段は 10.5 m, 第 5 段は 10.15 m, 第 6 段は 9.7 m。附屬祭場 funerary temple に植物模様(パピラスや蓮の)が始めて現れる。この step pyramid は Zoser 王の侍醫で、建築家であつた Imhotep (=Yemhatpe) 一人の飛躍的天才の作品である。

step pyramid の近くに Serapeum (Serapis の temple で牛 Apis を祭つた所)を 1850 年に Mariette Pasha が發掘した。地下の墓で第 5 王朝(西紀前 2750 年), 第 6 王朝(西紀前 2600 年)の高貴な人のものであらう。壁の彫刻及び繪畫は精工なものであることは繪葉書で知つたが、見に行く機會を得なかつた。

蛇 と り

昔から地中海東部沿岸から、南方アジアに snake charmers が廣くゐたものと見え、舊約聖書に出てゐる(詩篇 58 篇の 4 節)。snake charmer といふが、寧ろ snake catcher の方がいい名だと思ふ(英國には鼠とりを職とするものがあるといふ)。エジプトでは Saheb-el-Ism, el Isma, el Rifaasi, Illi Yitaba ta-abeen (蛇を取り出す人等)の名で呼ばれる。蛇とりは Refaiyeh Brotherhood といふ宗團に屬す(開祖は Sheik Rafee 172 頁)で、世襲職業である。低級なのは普通の無毒な蛇を捕へる。高級なのは Luxor に住み、如何なるコブラ(アラビヤ語で nâsher)の如き毒蛇でも平氣で捕へる。蛇とりに電話をかければ、いつでも來

て(驢馬に跨り)取り去つてくれる(エジプト人は蛇が屋内、庭園にゐるを好まないが、同時に、蛇を殺すことを嫌ふ)。白いターバンに長いガラビエー(136頁), 腰と腕に繩を巻いてゐる(過つて毒蛇に咬まれたときに直に結紮する爲めである)。先づ呪文を唱へ、蛇に出てこいと命ずる。呪文を記せば Ya Ta'aban ukhrug b'amr Suleiman-el-Hakim! Ukhrug B'ism Illah-er-Rahman! Er Rahim ana rubak khalim Melik Yom-ed-Din Jsma Ukhrug Bismillah-er-Rahman-er Rahim (英譯は Oh thou Serpent! Come out! By the order of Solomon the Wise! Come out! By the order of God! the Most Merciful! the Most Certainly Merciful! I, Your Lord, serve the King of the Judgement Day! Hear! Come out! By Order! By the Name of God! the most Merciful! the Most Certainly merciful! 呪文を汗ダクダクで數回唱へて、杖で諸方を叩き廻り、嗅ぎ廻る。蛇の居所を確かめると、杖で追ひ出すか、手を延べて蛇を掴み出す。

要するに、蛇とりは蛇の生態を代々の經驗で熟知してゐる。従つて毒蛇でも捕へ方を心得てゐる。呪文の如きは周圍の人に凄みを與へるに過ぎない。嗅ぎ廻るのは、特別な嗅覺を有する如く見せかけるだけの役目をする。地面を杖で叩くのは、蛇を嚇す機能はあらう。また蛇に催眠術をかけることもやるらしい(scorpion charmer といふのもゐるといふ)。上記の事實以外に、蛇とりに種々の程度に於て、偽瞞的な分子があることは疑へない。いつでも驢馬の耳から蛇を取り出し

て見せるといふ如きは1例である。

スカラブ

Scarabaeus (=Ateuchus) sacer (XX. 6) は地中海の北岸にも南岸にも産する甲蟲で、糞を丸めて球となし、日中2匹(雄雌とはかぎらない)で砂の上を轉がす(轉がして丸くするのではない)。後適当な土壌(砂ではない)に穴を掘り、中に數箇入れて産卵する(轉がしてある球には産卵してない)球形のは幼蟲の食物 food pills で、産卵するのは brood pills で西洋梨形をしてゐる。

エジプト人は昔この甲蟲が、沙漠の日光を浴びて、營々と球を轉がすを見、また穴の中の球を29日目に掘り出し、ナイルに投ずると、1匹の甲蟲が出るのに、驚異の感を抱き、一方には太陽が東から西に中空を轉がるに類する故に、この甲蟲を太陽を象徴すると考へ、他方にては、この甲蟲は雌なくして雄だけのものと思ひ、球の中から生れ出るのを、創造、復活、男性を表すものとした。エジプトではこの甲蟲を *kheper*, *kheprer* といふ。*khopi(r)* は to become, to come into being を意味す。従つてこの蟲を神聖視し(ミイラにしたものもある) *Kheperi* (scarab god) なる神は、頭にこの蟲を戴くか、頭がこの蟲になつてゐる。神が地上にこの蟲の形をとつて、出現したもの即ち theophany と見た。

この甲蟲の形に彫刻した石を scarab といふ。稀に大きい

石のもあるが、通常は4cm内外で、用途によつて3つに分類できる。

1. 生きてゐる人の佩用したもの。
 - a. お守り amulet 指環にはめたものと絲に貫したものとある。
 - b. 印 西紀前約2000の第12王朝以後のは王及び王族の名を刻つたもので、宗教的の意味は全くない。
2. 王より發した“news letters”で、同様なのを多數に造り領地の各所に配布したもの、1つの例としては Amenholpe 3世の發したものに自身平民より皇后を入れた辯解や、獅子を1年に何匹射止め、弓の名人である誇を臣下に示したのがある。
3. 死人の爲めに造つたもの。ミイラの細い帯に入れたり、又心臓があつた場所(本物は取り出してある)に載せた heart scarab (XX. 7) とある。通常絲を通す孔がある。Book of the Dead の1節を刻つたものもある。

スカラブの形は古いもの程實物に近いが、後になると段々 conventionalize したものとなり、又翅を擴げ、靈の飛び立つさまを表はした動的のものもある。

スカラブは多くは、steatite に釉藥を掛けたものであるが、他の物質のものもある。古くは象牙、木であつたが、琥珀, lapis lazuli, 水晶, 紫水晶, 黒曜石, carnelian, haematite, 碧玉(紅・黄・緑の jasper), 閃綠岩, 綠色玄武岩, 青長石, 花崗岩, slate 等のもある。又砂を

膠様のもの¹で堅めて釉薬を掛けて焼いた、後世の faience¹ に類したものもあつた。古いのは淡青色であるが、後には緑色となつた。

ポート・サイドからナポリまで

船は横濱を出てから、15,864 km を走つて、37日目にポート・サイドに達す。それから3日の船路 2,040 km の後にナポリに入港する。

ポート・サイドを出ると、翌朝早く右舷に Gaudo の島を見る。Crete 島の南 46 km。これは昔の Clauda 島で、聖パウロの暴風に遭つた所である。イタリア語では Gazo。非常に高い燈臺がある。歐洲最高のものだといふ。西北約 9.2 km に、Gaudo Pulon がある。これを過ぎると Crete 島の西部 Krio 岬が見える。この島の大きさは地中海のうちで3番目(第1がシチリヤ、第2がサルデーニヤ)で、東西 260 km、南北 9.5—5.6 km。ラテン語、イタリア語では Creta といふ。イタリア語ではまた Candia (アラビア語の Khandah から来た)、ギリシヤでは古く

1. Faience は 1299 年にイタリアの市 Faenza (昔は Fanentia) で発明した陶器である。Faenza はイタリアの東海岸線で Bologna と Rimini の間、ポローニヤから東南 50 km。Evangelista Torricelli (1608—47) の生地で、9 m の大晴雨計が記念碑として造つてある。
2. 使徒行傳 27 章 16 節 “クラウドといふ小島の風下にいたり辛うじて小舟を収め……”。

は Κρητη, 近時は Kreti といふ。トルコ語では Kirid Adasi。西部に Hagios Theodoros (2,650 m) の高峰がある。古くナイル平野の文化が、ギリシヤ本土に移つていく、飛石をなした所で、考古學的に有益な発見がある。海産動物(特にタコ)を面白く模様化したものがある。聖パウロがローマに行く途中にこの島に立ち寄つた。¹こゝで 1940 年 5 月 20 日ドイツの落下傘部隊が活躍したのは、記憶に新なる所である。

船はシチリヤ島 Sicilia に向つて西航一晝夜で、秀峰 Etna (イタリア人は l'Etna と冠詞をつけていふ、ドイツ人は Ätna と書く)を遙に望む。Normans は Monte Gibello (ラテン語の山とアラビア語の山を結合して)といつた、それがイタリア名の Mongibello となつた。カタニヤやその近傍の人は單に、La ^{モンターニヤ} Montagna といふ。ギリシヤ人は Ατρυγ (焼け山)、サラセンスは Jibel-Huthmet, Hunthamet とか Jibel Nar (火の山)といつた。第3紀に灣から熔岩や scori で盛り上つた山で、高さ 3,279 m (富士山の 3,776 m に比すると 500 m 程低い)。そのうへ裾野が高い爲め、base の廣さは富士と大差なくとも(半径 17 km)、餘程低い感を與へる。シチリヤの東岸に沿つて北上し Mare Joni と Mare Tirreno を結ぶメッシナの海峡 Stretto di Messina, ローマ人の Fretum Siculum に入る。通航約 40 分、幅の狭い所は 3 km。兩岸の風光は實に美しい。東側は Calabrian Appenines

1. 使徒行傳 27 章 7, 8 節。

で1,700mに近く西にはメッシナ側でMonti Peloritani 1,200—1,300 mがある。海峡は必ず右方を進むのが規則であるさうで、船は Reggio¹側を通る。

深さは Ganzirri と Pezzo を結ぶ線で最も浅い(100—200 m)。それより北も南も深い。メッシナの東では 200—400 m。10 km 南では 800—1000 m。この海峡では潮流が6時間の phase で南に流れ (rema scendente), また北に流れる (rema montante)。海岸で逆流 (Gegenström) を起す (南に流れるときに特に多い)。また所々に渦を起す。メッシナから Faro までに5ヶ所、カラブリア海岸に3ヶ所ある。メッシナ半島の北側には Garofalo (本来は Garofano 石竹であるが、シチリヤ訛りでかくいふ) といふ渦がある。Friedrich 2世のときに、カタニヤからの Cola Pe-sce がこゝで潜り、Schiller の ballad “Der Taucher” を産みだした。この海峡は潮流が速い爲め、風はなくとも船はかなりに動揺する。昔の小船では、この邊の航海には随分危険が伴つたと思ふ。Homer の話の Scylla と Charybdis なる怪物は果して何を意味するか不明であるが、今日 Faro の對岸に Scilla なる村があるのを見ると、その邊の岩が昔の Scylla であらう。

1. レッジオは Reggio Calabria といひ、Reggio nell'Emilia (モデナの西北 26km, イタリアの大動物生理學者 Lazzaro Spallanzani (1729—1799) の 1754年に始めて教授となつた所で、スパンツァー博物館が數年前立つた) と區別する。西紀前 723 年にギリシヤの Messina から逃れた人が植民し、Rhegion (裂け目の義) といつた。ローマ人は Rhegium と呼んだ。聖パウロが、ナポリに近い Puteoli (今の Pozzuoli) にいくときに、一泊した所である(使徒行傳 28 章 13 節)。1783年と1908年の大地震で市街は全滅した。

Charybdis は岩でなく、どれかの渦を指したのではなからうか。

レッジオから 10 km も進むと、左方に Messina の市を見る。なほ 10 km もいくと、海峡の北端に達す、左側は Capo Peloro (Promontorium Pelorum) の沙嘴に Faro (ラテン語の Pharos 燈臺) なる小漁村があり、潮入りの湖がある。ナメクジ魚の名所である。アンテナが3本立ち赤い屋根の家が2,3軒見える。メッシナ海峡は深く且つ海流が複雑であるから、深海の動物が表面に浮び上り、風で海岸に吹き寄せられるので、研究材料は實に豊富で、動物學者の樂園とまで呼ばれる。

雙眼鏡でシチリヤの海岸を見ると、數條の乾燥した河、即ち河床 fiumare 又は torrenti (水の常にあるのが fiume) がある。

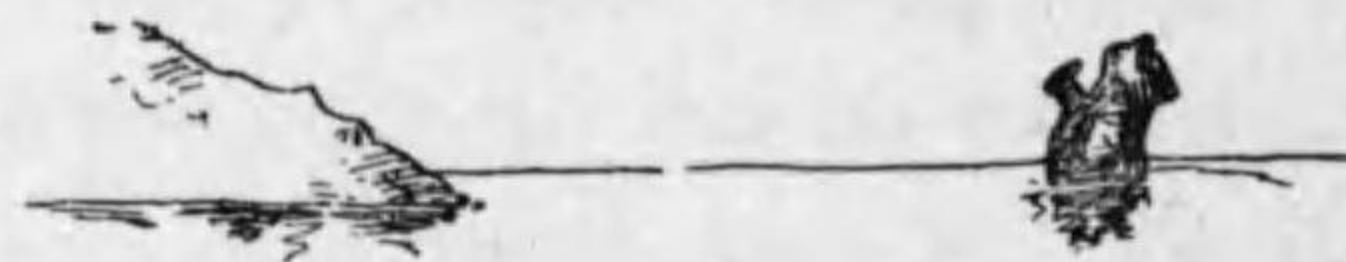
メッシナ海峡を抜けると Mare Tirreno, Tyrrhenian Sea に入る。北に進むとリパリ群島 Isole Liparie=Isole Eolie がある。7つの大島と10の小島よりなる(船から水平線に5つの島を見た)。船はこの群島の最東の Stromboli (XXI. 1) (ギリシヤ人は、風神 Aeolus が住んでゐたと思つてゐた近くを過ぎる。活火山のある島で“地中海の燈臺”と綽名される。こゝを晝間と夜間に過



第 24 圖 ストロンボリとストロンボリ。キオ 1:325,000 著者模寫

ぎる機会があつた。ギリシヤ名は *Στρογγύλη* (圓島) で、變じてストロンボリーとなつた。圓錐形で面積 12.5m^2 。直径 13km 。最高點は 925.87m 。噴火口はその北方で頂上から 200m 下に位す。常に白煙を吐いてゐる。1891, 1902, 1907 (直径 200m の噴火口ができた), 1912, 1915, 1919, 1921 (その後の記録は私の手元にない) に爆發があつた。2ヶ所に高原がある。人口 $2,600$ 。東北に San Vincenzo といふ村がある。白い箱のやうな家が群つてゐる。西北には熔岩が 35° の角で海に落ち込んで凝固してゐる。これを Sciarra del fuoco (火のとなり) といふ。東北端にこの島から

1.5km 隔つて海面から 55.6m 高く玄



武岩が突出してゐ

第 25 圖 ストロンボリーキオ 著者寫生

る。これを Strombolicchio (XXI. 3) といふ。夜間ストロンボリーの近くを過ぎたとき、船長の好意で、島の周圍を船で廻はしてくれた。噴火口のある所はボーツと明るい。2條の火の柱が、10分の間隔で、立ち上るのを見た。

こゝから西北に約11時間進むと、船は Golfo di Salerno に達す。この灣の底にサレルノ市がある。醫學史で有名な所で、中世紀に盛大な醫學校(1817年廢校)があつた。

石灰岩よりなるアペナイン (Appennino) 山脈の1枝は延びて、ソレント半島 Penisola di Sorrento となり、その尖端の離れ島が Isola di Capri (XXI. 4) である。ソレント半島の尖端近

く見える山は Monte Santo Constanza 498m 。カプリの最高點は西半に位する Monte Solano 598m である。

船は進んで Golfo di Napoli に入る。Vesuvio (Vesuvius, フランス人の Vésuve, ドイツ人の Vesuv) 1223m は煙を噴いて目の前にある。西紀79年8月24日に灰埋めになつた Pompeii はヴェスービオの東南にある。海岸を西に進むと Torre del Greco に至る。ナポリの罪業をトルレが償ふ (Napoli fai peccati e la Torre li paga) の諺がある如く、幾回となくヴェスービオの熔岩流に見舞れた村である。Regia Scuola di Incisione su Corallo がある。珊瑚ばかりでなく、コヤスガヒや熔岩で cameo (凸彫), intaglio (凹彫) を製造す。次は Resina で、その下の $10-40\text{m}$ に Ercolano, Herculaneum がある。ポンペイと異り熔岩埋になつたので、埋没品は高熱を受けてゐる。パイラスの巻物(後に非常に貴重なものとわかつたが)は発見當時は、黒い棒になつてゐたので、炭と思ひ、その家を昔の炭屋と誤つたといふ滑稽な話もある。次に Portici が来る。Regio Istituto Superiore Agrario がある。それから西北 8km に Napoli がある。その西は Campi flagrei で地獄原とでも謂ふべき所で、多數の休眠火山の噴火口がある。1638年9月30日に數時間でできた Monte Nuovo もある。ナポリの西方に突出してゐる半島は Posilippo の岬でローマの軍人で文學者であつた Pollio (西紀前75—西紀6) の“無憂莊” *πανσιλοπον* (Sans-Souci, Buitenzorg に同じ) のあつた所。その先が Pozzuoli の灣で、その底にポツオリ

の町がある。昔の Puteoli で、聖パウロ¹が上陸した所である。ポツオリの灣の西の岬が Miseno で、その先に Isola di Procida、續いてカプリより遙に大きな島 Ischia¹³⁴⁷がある。最高點は死火山 Epomeo (789 m 後の e にアクセントがある)である。

ナポリ (XXI. 25)

ポートサイドからナポリまで 2,040 km
横濱からナポリまで 17,904 km

Napoli (北緯 40°50', 青森の浅蟲と殆ど同緯度、東經 14°16') はナーポリと發音す。土地の人の発音は寧ろナーブレの如く聞える。英佛共に Naples (マルセーユでもリヨンでも、フランス語では s が無いのにナーブルには s がある) ドイツ語では Neapel, オランダ語では Napel, スペイン語では Nápoles である。詩人はナポリを Parthenope とか Citta di Sirene といふ。住人は Napolitano (英語では Neapolitan) である。用語は dialetto napolitano で、正式なイタリア語 (Toscana, フィレンツェ近傍の) に比べると訛りが強い。市民に純粹のイタリア人は少く、アラビヤ人、アフリカ人、ギリシヤ人などの混合のやうである。

人口は約 1,000,000 イタリア最大の都市で、次はミラノで、ローマは第3位である。

ナポリは天然の良港だから、フィニシヤ人が頻りに出入して

1. 使徒行傳 28 章, 13 章。傳説によると船から最初上陸した船長が禿頭であつたので聖パウロと誤られ、殺害されたといふ。

ゐたが植民はしなかつた。始めて植民したギリシヤ人は西の海岸に *Kύμη* (現今いふ Cuma, ローマ人の Cumae) なる町を立てた。それから東に新しい町を造つた。これが新市即ち Neapolis で、轉訛して Napoli となつた。

ナポリ港は狭い舊軍港 Porto Militare (西) と、普通の港 Porto Mercantile とに分れてゐる。700 m も Corso Garibaldi を北に進むと Stazione Centrale にいける。(Stazione Mergellina は市の西部にある。) 電車に乗ると有名な水族館 Acquario (q の前に c がある) のある公園 Villa Comunale に容易にいける。波止場から西南に進み Castel Nuovo (新城), Palazzo Reale (王宮) の側を過ぎ、Pizzo Falcone (鷹の嘴) の突角を越えると、以前の Santa Lucia といつて漁夫たちが住み面白い區域だつた所を通る。今日は現代化してホテルなど立ち並んでゐる。この邊が Palaeopolis (舊市) があつた所だといふ。こゝから海中に Castel dell'Ovo (卵城) (XXI. 5) が突出してゐる。Megaris といふ岩の上に 1154 年に William 1 世が起工。Frederik 2 世が竣工し Don Pedro de Toledo (治世 1532—53) が現形としたものである。今日では軍の監獄になつてゐる。ローマの軍人 Lucullus (西紀前約 110—約 57) が宏壯な villa をこの邊に有し、ウツボ (murena) を生簀に飼育し、手馴して、手から餌をとるやうにしたといふ。そこから程なく公園 Villa Comunale に達す。

1. 生活現象と物理化學的に説明せんとした生理學者 Giovanni Alfonso Borelli (1608—79) はこの近くで生れた。

王宮から大路 Via Roma を 2km 北に進むと有名な美術館 Museo Nazionale がある。東北へ Strada F^{フォーリア} 1.5km で植物園 Orto Botanico に達す。1810 年創立。面積 13ha。大學附屬で、植物學、藥用植物學の講義、實習がある。1928 年設置の藥用植物研究所 Stazione Sperimentale per le Piantе Officinale がそのうちにある。枝の垂れてゐるイテフを見た。

波止場から 300m も北にいくと Corso Umberto 1^o の大通に出る。こゝに Hofenstaufen の Frederik 2 世の 1224 年に立てた大學 Regia Università degli Studi (XXII. 5) がある。歐洲の最古の大學の 1 つで、Thomas Aquinas (1226—74)、ローマで焼かれた Giordano Bruno (1548—1600) の如き碩學も一時教鞭を執つた。入口の上に “Ad Scientiarum haustarum et Seminarium doctorinarum” (知識の吸収と學者の養成の爲め) と書いてある。

Via Roma から西の山上にサンテルモの城 (Castel S. Elmo) (XXI. 2,5) がある。高さ 249m。1343 年築かれた。その隣に San Martino の Carthusian 派の修道院と美術館がある。六角の見晴し臺 Belvedere からの眺望は絶佳で、ベスーピオは勿論 Nola の沃野、アペナインの連峰までのパノラマが目の前に開展する。Vedi Napoli e poi mori (ナポリを見れば死するも可なり) の諺は、過言ではない。普通繪葉書などにベスーピオを背景にして撮つたナポリの寫眞 (XXI. 5) はサンテルモより遙に西のヴァーヂルの墓近邊でとつたもので、傘のやうな松 (*Pinus pinea*) が付き物になつてゐる。二葉の松で英語では

stone pine といふ。

ナポリに關係の深い 3 人(人魚がそのうちにあるから正しくいへば 2 人)を茲に附記する。

1) パルセノピー (*παρθενοπη*) は le Silene の 1 人で 2 人の妹と共に體の前半は美しい女で、後半は魚。常に岩礁の間に住み、歌を謠ひ、通りかゝる船中の男を誘惑し、彼等をして身を海に投ぜしめた。それ故彼女の周圍には白骨累々としてゐたといふ。Odysseus がサレルノの灣の I Galli (鷄島) で船子の耳に蠟を詰め、自身は體を檣に堅く結び、難を免かれた。それでパルセノピーは神通力を失ひ、耻ぢて身を深淵に投じて死んだ。死骸は流れてナポリの灣に漂ひつゐた。墓が San Giovanni Maggiore の教會近くにあるといふ。ニューヨークの Trinity Church の墓地に小説の heroine の墓があるから、ナポリに人魚の墓があつても不思議はない。惡魔除けの御守としてパルセノピーの像ができてゐる。Piazza del Mercato に近い San Eligio の教會に近く “ナポリの頭” ('a cap' e Napule) (XXII. 1) として知られてゐるものがある。女の大理石の胸像で、何にしる古いもので鼻は缺損してゐる。本來 amphitheater にあつたものだといふ。これをパルセノピーの像といつて、市民は特別の親しみをもつてゐる。Bernando Quarante 25 番地に子供のシャツを賣つてゐる店の角に立つてゐる。

第 2 はローマ時代の詩人ヴァーヂル Vergilius (イタリアで Virgilio) (西紀前 70—19) がナポリでは、阿部晴明の如く、妖怪味

を帯び、しかも、守り神となつてゐる。蛇を退治したとか、青銅の蠅を造り、他の蠅を追ひ拂つたとか、肉を6週間も腐敗させずに置いたとか、1夜で Posilipo のトンネルを掘つたとか、壘の中にナポリの模型を造つたとか、壘の中に卵を吊し下げそれで Castello dell'Ovo を築いたとか、荒唐無稽なことが傳つてゐる。ポジリポの高い所に Tomba di Virgilio といつてゐるのが、1つの columbarium (鳩糞とでも謂ふべきローマ時代の納骨堂)で、ヴァーギルとは何等關係がない。

第3のは St. Januarius (XXII. 6) (イタリア語の San Gennaro) でナポリの patron saint (patrono) である。ナポリ生れといふが、後に Benevento (ナポリの東北 50 km) の bishop となつた。ローマ皇帝 Diocletian (245—313) のクリスチャン迫害の際、信者を勵まし信仰を高める目的で、ナポリに来るとき、ポツオリで捕縛され、Nola に連れていかれ火の竈に入れられたが、焼けずに免れ、次にポツオリの amphitheater で獅子の群に投げられたが、獅子は猫の如く、従順となり、一向喰はうとしない(猫にマタビヤ、ヲミナヘシの根の如く、獅子の好む草を持つてゐたとの説もあるが、奇蹟は科學的に説明すべきものではない)。そこで當時の Governor の Timotheus が、彼に死刑を宣告したら、忽ちに視力を失つた。サンジェナロの祈により彼の視力は恢復した。これを見て、5,000人が信仰に入つた。Timotheus は兵士に命じて Solfatara の近傍の山上で、斧で首を刎ねさせた。時に 305年9月19日。首は海に浮ぶと親しい布教の地

ナポリに漂流した。これを Duomo に葬つた。信仰の厚い女性が、斷頭の際サンジェナロの貴い血を2つの壘 (ampullae) に受け、保存した。Constantine 皇帝 (306—337) のときに、ビショップの St. Severinus が、サンジェナロの死骸をナポリに持つて來たら、これまで凝固してゐた血は忽ち液化した。2つの壘のうち長いのはマドリッドにいき、圓形で扁平なアムブラは Duomo に保存して、ナポリのビショップと市長兩人が立合ひの上で鍵で毎年2回5月の第1土曜日と斷頭の日9月19日に溶血の奇蹟 Miraculo が行はれる。サンジェナロの像はポシペイにいく街道の Ponte della Magdalena といふ橋 (Æneid の中にある Busato といふ小川に架してある)の途中にある。手をベスーピオの方へさし延べ、常に熔岩流の市への侵入を防いでゐる。

ナポリの今昔

私がナポリに居つたのは1905年の12月から翌年の6月までで、當時のナポリと30年後のナポリとは大に異つてゐる。

Benito Mussolini (1888年7月2日生) は1922年10月31日にローマに乗り込み、il Duce (ラテン語の Dux で、Führer と同じく指導者である)として Anno Fascisto 1 を開いた。紀章には fascis と Savoy 家の cross を用ゐてゐる。fascis (複数は fascis) とは Fascisto の名のよつて來る所で、ローマの大官の行列の先頭に、丁度日本の大名の行列の槍の如く、lictors (fascis

を *lictor* といいふが左の手に持ち左の肩にかついで、棒又は楡の棒の束を赤い紐で結んだもので、斧を束の途中に付けてある(斧が束の上に付けてあるのは、後世紋章に用ゐるために變へたものである)。これは本來は亂暴者を鞭うち、首を刎る

ことの象徴である。ファシスト第10年の記念切手(1931年発行)には、斧が正式に途中に付けてある。中央に騎馬のムッソリーニの肖像があり下に *se avanzo, seguitemi* (われ陣頭に立つ、われに續いて來れ)の句がある。ファシストの挨拶は *Saluto Romano* 即ち右手の掌を前方に向け、腕を少しあげる。パレルモの大學の地質學教室に、學生はローマ流に敬禮すべし (*Si Salute Romanamente*) の掲示を見た。然し不思議なことには、この敬禮法

は決してローマ流ではない。ムッソリーニが案出して勝手にこの名を附けたものである。彼の友人で後に禁錮にされた Rossi 少佐の説によると、ムッソリーニは *Citta Eterna* といふ。映畫を見た際に、この敬禮法がふと頭に浮んだといふ。然らばローマ時代にはどんな敬禮法があつたか。 *ad locutos* とはローマ皇帝が兵士に向ひ、兩手を挙げ、人差指を立てたもので、ムッソリーニに近い。 *dextras jungere* とは同格な人の握手である。 *ad dextram regis* といひ、目下の人が目上のものには膝



第26圖 ファシスト第10年記念切手の左の部分にあるリクター 著者略寫 ×3

を屈し手に接吻した。兵士は今日の日本のと同様敬禮した。ムッソリーニの軍隊は一種獨特の *Passo Romano* で歩く。ムッソリーニはこの歩き方を女優が stage で真似るのを禁じた。ムッソリーニの肖像を額縁に入れて掲げてある家がある。或は鷲と共にあるもの、皇帝と共にあるもの、或はシーザーに擬して頭から御光がさし出ているものもある。肖像の下には *A chi Italia? A noi* (イタリアは誰に? われわれに) と書いてある。

以前と異り旅行者が安心して旅行でき、不愉快なことは少なくなつた。これは大いに *Duce* に感謝しなければならない。普通の巡査のほかに *milizia nazionale* といふ黒衣の憲兵が活動してゐる。汽車も時間表通りに動いてゐる。1分も遅れると、その理由をムッソリーニに上告しなければならない。イタリア人は皆身分證明書 *tessera identita* に寫眞を貼つて、所持してゐる。外國人がイタリアに滞在するには *permesso di soggiorno* を市役所から受取り國を去るときに國境で返す(旅券 *passaporta* があれば滞在許可證はいらない)。ホテルでは先づ旅券を取り上げる、その寫しをとられるばかりでなく、父母の名を要求する。ホテルでは室代を食事代 (*conto albergo* 或は單に *conto*) のほかに 15% の *percentuale servizio* をとる。8% の *tassa di soggiorno* と *bollo* といひ収入印紙代をとる。ホテルの室代は室に掲示してある額よりいくらか安い。これはムッソリーニの命令で旅客の便宜を計る爲めだといふ。汽車は發車15分前から乗車券を賣る。

市街は清潔となり、乞食は殆どゐない。以前はボロボロの衣服をきた小さな男の子が舗道上で逆立ちをして、マカロニを、あなたの健康の爲めに食べるから、金をくれなどいつたものであつた。従てヴァッテネ(フランス語のヴァトン)を日に數回用ゐて乞食を追ひ拂つたものであつた。元は牛と馬と驢馬が並んで1つの車を輓いてゐたが、今日でも牛を抜きにし、馬と驢馬と一緒に輓いてゐるのを見た。自動車はまだ少く、馬車(carozza)が市内にゐる。以前は狭い道を凄い勢で鞭をならして馬車が疾走した(これがナポリの名物の一つであつた)が、今はそんなことはない。元は贖金¹が非常に多く、乗車券やレストランの釣銭には特に多かつたが、今日は殆どなくなつた。

海岸の公園 Villa Comunale (以前は Villa Nazionale といつた)は依然長閑である。粗末な玩具を賣るもの、木製のカメラで即席に寫眞を撮影してくれるものも、30年前と同様である。

Il Re, Il Duce, La Aeronautica の貼札^Wがある。Wは何にかと思つて番兵に質したら VIVA (萬歳)の複數だらうといつてゐた。貼札に大きく Cittadini (市民)に呼びかけるムッソリーニの辭が印刷して、所々に貼つてゐるのは、日本では見られない光景である。

Corso Umberto I° を午前10時頃歩いてゐたら露店に人が集

1. 以前は5種の贖金が通用してゐた。1, falso (物質の異なるもの)。2, spregiato (鑄造の悪いもの)。3, estero (外國貨幣)。4, fuori corso (1862年前のもの)。5, falso conio (1899年鑄造で F. E. R. T. とあるもの)。

つてゐる。立止つて見るとテーブルの上に乾燥したヒキガヘルを立て、黄い布で頬かぶりをさせてある。乾燥した蛇もある。トノサマガヘルの脊髄を針で刺して見せてゐた。肺病の藥を賣つてゐるのである。

Via Roma から左に石段の狭い通り (gradoni) があるが、往來で洗濯物を乾かし、木炭を使つて焓爐で煮物をしてゐる。地階以上に住んでゐる人々は箆を紐で吊りさげて、買物をするさまは昔と變化がない。然し餘りに原始的なのでムッソリーニは國辱と思ひ、こゝを寫眞にとるのを禁じたといふ。所所に太い丸太を通の1側から他側にわたして、壁の崩壊を防いでゐる所もある。強い地震があれば、この區域などは全滅だと思ふが、幸にナポリには強震がない。所々に小さな聖母マリヤの wayside shrine があり、常にお燈明を點し、花が捧げてゐるのは懐しい (XXII. 3)。

道路を掃除する箆には herba secca とて heath を用ゐてゐる(パリー、それから北では樺の若枝を箆に用ゐる)。

以前はナポリの漁夫は赤、緑など色彩の美しく塗つた漁船を使用してゐたが、今日は motor boat (俗に varcamoto) を用ゐてゐるので大に雅致を損じた。

ナポリの食物

Castel dell'Ovo (XXI. 5) へいく陸橋の東側に、2, 3軒の漁夫の家族が住んでゐる。貸しボートも簍 (nasse) (XXII. 2) も數

筒ある。江ノ島などに見る如き土産物の店や、レストランもある。shore dinner を簡単に食べさせる。大部分は戸外で、柄の左右に電燈の附けてある、大きな傘の下のテーブルで食す。魚のテンブラ (fritto di pesce) を注文すると、大概は鱸の附いたまゝ衣なしに揚げた *triglia Mullus barbatus* である。日本のヒメジと素人は區別できない程よく似てゐる。英語では red mullet, フランス語では rouget, ドイツ語では Seebarbe といふ。英國の南岸から地中海に普通に産する。ローマ人も好んで食し、生きながら皮を剝くと、色素細胞が急に擴張して、色彩が鮮麗となるのを賞玩した。時には招待した婦人客の前に侍女に、生きたヒメジを水杯に入れて持ち出させ、お客手づから皮を剝かせて、興を添へたといふ。

Frutta di mare (海の果實) とは、海岸の岸礁に産する食用動物の總稱である。ウニ *riccio di mare* リッチヨは栗の毬、複数は *ricci*, カキ *ostrica*, 複数は *ostriche Ostrea edulis*, マテ *cannulicchi Solen vagina*, ホヤ *tartufo di mare Cynthia microcosmos* (タルトーフとは英語で truffle, フランス語で truffe といひ、特別に飼育した豚に捜させてとる松露のやうな蕈である), このホヤを半分に切つて赤色の内容全部を食べる, イシマテ *dattero Lithodomus dactylus* (ポツオリの Tempio di Serapide の柱にこれの孔がある), イシワリガヒ *folada Pholas dactylus*, イガヒ *cozza Mytilus galloprovincialis*, アサリ *vongolo Tapes decussata* 生で食し、或は剝身としてマカロニに混ぜて食べる。イカ *calamaio*,

ナポリでは *calamaro* (インキ壺の義), *Loligo vulgaris*, 輪切りにして油で揚げる, タコ *polpo Octopus vulgaris* は *fritto misto* (混合テンブラ)の中に入れてある。

ツッパ^{ツッパ} はスープの總稱である。どうもイタリアでは clear soup はさう好まないやうだ。thick soup を *minestra* といふ。ツッパにマカロニの入れたのがあり、又スイトンの如き *gnocchi* (単数は *gnocco*) の入れたのがある。ツッパに全然汁のないのがある *pasta asciutta* とか *minestra asciutta* といふ。それ故レストランでツッパと注文しても意外なものを持つてくるので驚くことがある。

野菜で日本で見ないものは、*zucchini* といふ若い細長いカボチャで、茹でて食す。フランスにもある。

シャボテン *Opuntia ficus-indica* の果實 prickly pear, fico d'India を好んで食す。この植物は大古から地中海の周縁にあつた如く考へて Friedrich Preller (the Elder) (1804—78) の *Odessa landscapes* などにシャボテンや龍舌蘭があり、聖書物語の畫にもシャボテンを背景に配してあるも滑稽である。原産地は南米で、地中海邊に來たのはさほど古くない。

枇杷 (*Eriobotrya japonica*) は全イタリアにあり、ジュネーブ湖畔にも及んでゐる。nеспola di Giappone 或は單に nespola といふ。loquat (廣東語の蘆柑) が英語になつてゐる。Japanese medlar, Japanische Mispel, nèfle du Japon の稱がある。イタリアへいつ移植されたか知らないが、フランスには 1784 年に入り、英國へ

は支那から 1784 年に Sir Joseph Banks (1743—1820) (オクスフォード大学で始めて博物學を講義した人)が移植した。

イタリアと関係のある果實が 3 つある。ナポリの東北 30 km に Avella といふ村があり、ローマ近代にはこゝから、少し東北に Abella なる村があり、果樹が豊富だつた Vergil は Malifera といつた。apple, Apfel なる語は malum abellanum から來たといふ。歐洲のハシバミ *Corylus avellana* の種名もこの村から來てゐる。hazel-nut, cob-nut を nux abelliana といつた。ナポリの北 70 km に Cantalupo といふ小村がある。こゝで發生したマクハウリが現今 cantaloupe といはれてゐる。

ナポリは飲料水が以前は悪くコレラ、チフスの流行があつた。灣で游泳することと灣のカキを食するを禁じてあつた。1884 年にコレラの大流行の翌年、1885 年に市の東 50 km の Serino の河から水を引いて Capodimonte の貯水池に入れ市の飲料水にした。1927 年には Perosi の泉からの水も附加した。今日でもセリノの水がいゝことになつてゐて acqua di Serino といつて素焼の壺に入れて町に賣りにくる。

氷は ghiaccio で ice water は acqua ghiacciata である。氷屋を gelateria といふ。氷の製品は本物だけあつて種類に富んでゐる。一般の名は gelato でフレンツェの人 Procopio Coltelli が 1660 年頃にフランスに入れた。フランスの glace, ドイツの Gefrorenes に相當する。アイスクリームは gelato di crema である。gelati を次の 4 種に大別する。

1. gelato vero 堅いもので皿に載せて食す。mantecato, crema, pezzo duro, cassata, spuma, bombo 等に細別できる。Neapolitan icecream と外國でいふのは赤、褐、白、緑の layer をなしてゐるのは cassata に屬する。綠色なのは pistacchio (英語で ^{ピスタチオ}pistachio) *Pistacia vera* の果實から搾取した液を混じ造つたものである。高級なものにはクルミを混じたものもある。

2. granita コップに入れて食べる大根オロシ位。

3. gramolata 矢張コップで食べるがグラニータより水分多く、雪融けの道路位、果物を入れたのがある。

4. sorbetto (英語の sherbet) はアラビヤ語の shariba (飲む) から來た。トルコからイタリアに來た。アイスクリームの先祖だと思ふが、酸のある果汁を入れたものはクリームが凝固するのでこの形で食す。アイスクリーム minus クリームである。

マカロニ macaroni はイタリア語では ^{マツケローニ}maccheroni で、正確にいへば paste (單數は pasta) が總稱で、マカロニはその一部の名稱に過ぎない。われわれの米屋の如く、マカロニ専門の店 pasticeria がある。小麦のうち gluten の多い gran duro といふ品類の麩を除き、碎いて多角形の semolina (粉 farina に比すると粒が大きい) に少量の鹽を混じ、煮てパステを造る。パステを分類すれば次の如くなる。

1. ピステシオはイラン、シリア原産で南歐、北アフリカにもある漆科の樹で白い粉をふいたやうな核果で、果皮を 2 つに割ると中に綠色の果肉がある。

A. paste lunghe (長形)

1. 平扁なるもの—日本のヒモカハに相當する。幅2—40 mm。最も狭いのを linguine。最も廣いのを lasagne。
2. 圓筒なるもの—これを食するには本來は手の指を使用するのであるが、通常フォークを用ゐる。この種類を食するにフォークで引き上げると長い紐で如何ともできなくなり、婦人などは絶望の餘り食べるのを中止される方もある。コツといふのは、フォークに適當の量だけ巻き、然る後に食するのである。
 - a. 實してゐるもの—日本のウドンに相當する。vermicelli, spaghetti, 細いのは capellini といふのもある。
 - b. 中空なものには—外径 15—16 mm 位のは candela, zitoni などの名がある。maccheroni (マカロニ) はウドン大である。中空なのを造るには dough を鐵の圓筒に詰める(以前は製造人が靴をぬいで中に飛び込んで足で踏んだが、今日は衛生的になつてゐるだらう)。圓筒の底に㊦の如き孔が多數にあいてゐる。水壓をかけて、下から dough を押し出す。注意して持ち上げ、竿にかけて乾燥する。この孔から出たものは、管の1部が切れてゐるが、乾燥するとき収縮して癒着する。それ故、煮たマカロニを注意して見ると、この癒着線を見る。

B. paste minuti=pastine (小形)

1. 中空で曲れるもの—平滑 (lisce) とギザギザ¹ (rigati) のとある、形により種々名がある。occhio d'elefante (象の目), occhio di lupo (狼の目), manico d'omorello (傘の柄)。
2. 椀状のもの—平滑とギサギサとある。
3. 中空のもの—輪切りは anelli (環)といふ。
4. 魚形 triglie (ヒメジ), alfabeto, stelle, crocette (十字形), anelli ricci (齒車状) 等がある。
3. 種子形 (seme)—大小數種ある。米粒大のを orzo といふ。

パステの食法に3種ある。

1. バタとチーズの削り粉をかけて食す。a cacio e burro とか a burro e parmigiano (堅いチーズで元 Parma で造つた故にこの名があるが、現在は他所でも造る)。
2. ソースを混ぜるもの al sugo とか col ragu といふ。トマト—ソースを用ゐたものを al pomodoro² といひ、アサ

1. corrugated のもので型に入れて造るらしい。
2. トマト—(メキシコの tomatl から來た), *Lycopersicon esculentum* のイタリア名は pomodoro, pomodoro で pomo d'oro の如き形をとつてゐるが、golden apple ではなく、pomo di Mori (Moorish apple) の變形である。ソバをイタリアでは grano saraceno, フランスでは sarrasin といふ如く、olive tree がポルトガルから來た故にホルトノキといふと同じく傳來の經路を示してゐる名である。南米アンデス地方では小形のものであつた。園藝觀賞用のため大きくなり、次に食用に供せられるに至つた。イタリアでは絲に貫して乾燥して保存する。米國では1830年頃までは有毒と考へられたが、今日ではビタミンCの補給に大に歡迎されてゐる。

りのむき身を入れたのを a vongole といふ。

2. 汁に入れたもの。

a. 薄い汁に入れたもの (al brodo)—日本のウドンカケもこれに属す。しかしこの汁たるや湯に少し味のついた位の極淡白なものである。

インゲンマメ (fagioli) をマカロニと共に入れたものもある。

b. 濃厚な汁に入れたもの (in minestra)。

国立美術館

Palazzo Reale から Via Roma を北へ 1.7 km 進むと Strada Foria へいく角に有名な美術館 Museo Nazionale がある。

1586 年に Viceroy の Duke d'Ossuni が騎兵の兵營の爲に起工したが、水の供給不十分の爲め建築がはかどらず、1610 年に至つて竣工。1616 年 6 月 14 日に Lemos 伯爵により、こゝに大學が移轉し、Regii Studii といつた。1688 年の大震後は裁判所として使用され、1701 年の革命にはまた兵營となつた。1667 年にはまた大學となり(1780 年には大學は Gesu Vecchio に移轉した)、1790 年に Ferdinand I は、少し改築して美術館とした。後 Bourbon 家の美術館となり、1816 年には Museo Reale Borbonico と呼ばれ、1860 年に至り Garibaldi により国立のものとし、Museo Nazionale と命名されるに至つた。Vittorio Emanuele II によつて組織を改新し、今日に到つてゐる。

ギリシヤ、ローマ時代の國寶的な價值のある多數の大理石や青銅の像等が保存され、實に世界屈指な美術館である。2 階の東側の室にはポンペイ、ヘルキュラネウムの發掘品が陳列してある。西暦 79 年 8 月 24 日のベスーピオの大爆發當時のローマ文化を窺ひ知る貴重な材料は、他の美術館の追従を許さない所である。

室の中央にはポンペイのコルクの 100 分の 1 の模型がある。ポンペイを見物する前に、これによつてこの市の概念を得て置く必要がある。外科、數學の器械も多くある。當時の食料品も陳列してある。蝸牛や龜も食べた。飲料水には窮したと見え、水濾し器械もある。山羊か羊の足の短骨 (knuckle bones) も陳列してある。女の兒が各自 5 つ持ち、お手玉の遊戲 (πενταλιθοι) をやつた。ヘルキュラネウムから出た大理石にもこの遊戲をしてゐる畫が描いてある。ギリシヤ人もローマ人もこの骨をお手玉や賽に用ゐたと見える。

水族館と臨海實驗所 (XXII. 4)

海岸の公園 Villa Comunale に臨海實驗所 Stazione Zoologica があり、その一部が水族館 Acquario になつてゐる。普通は Acquario の方が通りがいい。

1. ベスーピオの爆發は 8 月であつたからその時の野菜もある。6 列と 4 列の種子のついた大麥の穂、粟、lentil、ソラマメ、玉葱、ニンニク、栗、ハシバミ、イチヂク、葡萄、松の實、サイカチの莢 (carob)、クルミ、ナシ、almond、コエンドロ (coriander) もある。粟と栗は粉にしてパンとしたものらしい。

最初は現今の建物の中央部だけで海岸にあつた(現今の水族館と海岸までは埋立地で Via Caracciolo も後にできた) Anton Dohrn が 1872—74 年に私財を投じて建築した。西側の部分は 1888 年にイタリア政府から、東の部分は 1906 年にドイツ皇帝によつて比較生理學の實驗室として増築された。第一次世界大戦起るや、イタリア政府により接收され、1923 年 10 月 21 日に Vittorio Emanuele 皇帝の命令で財團法人となつた。

入場料 10 リレ。タンク (vasca 複数は vasce) の數 26。ナポリ灣の動物が 200 種族も生かしてある。伊、英、獨、佛の 4 種類の案内記があるので、タンクに動物名は全く書いてない。日本によく見らるゝものが種こそ異れ、殆ど皆あるから面白い。テンス *Xyrichtys novacula* は pesce pettine (櫛魚) といひ、桃色のサギブエ (*Centriscus scolopax*) は pesce trombetto (ラッパ魚) である。テンヂクダヒ (*Apogon rex mullorum*) は俗名 re di triglie (ヒメジの王) で種名はその直譯である。

ローマ人が好んで食した murena ¹*Muraena helana* はウツボの類だが、タンク中の土管に入れてある。Lucullus が手馴したことは前に述べた(201 頁)が、Hirius が招待した客に 1 m もあるウツボを 6,000 出した記録がある。Vedius Plinius の奴隸が貴重な食器を毀したとき、ウツボの生簀に投じて殺した。Crassus が特別に大きいウツボの死んだとき、鄭重に葬り、墓を

1. murena は斑紋があるが、黒いのは grongo (複数は gronghi) *Conger vulgaris* である。

立てて悲んだと傳へられてゐる。

タンクを一周して中庭に出ると、東側に標本室 (Mostra) がある。この實驗所で年來實驗に實驗を重ねた、獨特の方法で、殆ど生時と異らない程にうまく動物が殺して保存してある。小使 (fachini) の 1 人が、標本について面白く説明すること、三崎の名物男であつた青木熊吉と大差ない。

タコ壺にタコを入れたのが陳列してある。壺には頸があつて、底が圓くなつてゐる lanzell といふ。小さなのを lanzelluzza といふ。

現在の所長は創立者 Anton Dohrn の子の Reinhardt Dohrn である。前回の歐洲大戦後はイタリアの勢力下に置かれ、ドーンも困難な立場にあつたが、獨、伊手をとつて樞軸國なるや、精神的には良好な状態となつたであらうが、今次の戦争のために、見物人も研究者も共に減じ、さなきだに資金不足のため經營の困難を來してゐた際、いよいよ窮迫の状態にあると思ふ。

索引

A

Acqua di Serino 212
 Acquario 217
 Adam's Peak 61
 Aden 99
 Aden kara Suez made 106
 Adobe 139
 Aida 144
 Alabaster sphinx 189
 Alcohol 137
 Alexandria 120
 Alligator pear 44
 Amr 133
 Amr Mosque 166
 Apple 212
 Arabia Sūzi 141
 Arabieh 140
 Arion 58
 Asp 186
 Avogado 44
 Awabi 20
 Azhar Mosque 169

B

Bab-el-Mandeb 106
 Baboon, sacred 156
 Babylon 133, 163
 Badulla 89

Baitarayō 84
 Baksheesh 103
 Banana 49
 Bandicoot 76
 Banreisi 45, 143
 Banyan 33
 Banzirō 46
 Batta (Sabaku no) 109
 Bey 142
 Binrōzi 69
 Birō 1
 Biwa 211
 Bodaizyu 87, 88
 Bombay duck 72
 Bo tree 87
 Bougainvillea 144
 Bread fruit 44
 Brok 34
 Bubastis 126
 Bussōge 10, 68
 Butaozaru 34
 Butugezi (Kandy) 81

C

Cairo kara Port Said made 124
 Cairo kara Suez made 127
 Cairo no Hassei 133
 Campi flagrei 199
 Cantaloupe 212

Capri	198
Caravan	105
Cashew nut	76
Castel dell'Ovo.....	201
Castel Sant'Elmo.....	202
Ceri.....	69
Ceylon	62
Champac flower	83
Chank.....	86
Charnokite.....	63
Chinese tree sparrow	6
Cinnamon Garden	67
Citadel	172
Cleopatra	129
Cobra	70, 186, 190
Colombo.....	65
Colombo Döbutuen	79
Colombo Hakubutukan	77
Colombo kara Aden made	94
Comboy	63
Coptic Hakubutukan	168
Crested mynah.....	46
Crete	194
Cucumber tree	96
Curry	73
Custard apple	45

D

Daigaku (Egypt).....	161
„ (Hongkong)	23
„ (Napoli).....	202
Daiiti Pyramid.....	181

Daini Pyramid.....	183
Daisan Pyramid	184
Dak camel	102
Dalada Maligawa	81
Delta Barrage	145
Döbutuen (Cairo).....	156
„ (Colombo)	79
„ (Syönan)	38
Döbutüsö no Henka (Suez Unga no tame)	119
Dolphin (Sakana no)	58, 59
Dorian	46
Dow	102
Dragoman	136
Dragon's blood.....	96
Dugong	79
Durian	46

E

Egypt	128
Egypt Daigaku.....	161
Egyptian Museum	147
Egypt-Zin no Senzo	129
El-Kahira	134
Emden	95
Etna	195
Eucalyptus.....	143
European Quarters	132, 135
Ezbekieh Garden.....	174

F

Faience	194
---------------	-----

False door	180
Fascis	205
Fez	137, 161
Fiumara	197
Fostat.....	134, 163
Fritto di pesce	210
Frutta di mare.....	210
Fustian	163

G

Galabieh.....	136
Gengorömusi	10
Ghardaqa	109
Gizeh no Pyramid...177, 181 (Tizu), 185 (Hyö)	
Goisagi	187
Gokurakuzi (Penang)	55
Gomimusidamasi	187
Gomu-no-Ki	43, 89
Gradoni	209
Guava.....	46

H

Hai	138
Hakgala.....	89
Hakubutukan (Cairo) ...147, 160, 158 „ (Colombo)	79
„ (Napoli)	216
„ (Shanghai).....	14, 15
Hamsin	113
Hanzaki	7
Haramitu	46

Harinezumi (Egypt no).....	148
Hebi-Kannon (Penang)	54
Hebi-tori	70, 71, 190
Hebi-tukai.....	70, 71, 190
Heliopolis=On	133, 175
Heliopolis (atarasii).....	128
Henaratgoda	89
Hitatimaru	95
Hongkong	17
Hongkong Daigaku	23
Hongkong kara Syönan-kö made..	23
Hongkong Syokubutuen.....	22
Hongkong Zakura	22
Höoboku	143
Hookah	138
Hude (Egypt no).....	149
Hyrax.....	157

I

Ice cream	212
Igakkö (Cairo no)	161
Imori	7
Iron wood	83
Iruka	53
Ismail Pasha	131, 135
Ismailia.....	114, 132, 133, 135

J

Jack fruit	46
------------------	----

K

Kaba	157
------------	-----

Kaheiseki (Pyramid no).....	182	Longan	47
Kakesu	108	Locust (Sabaku no).....	109
Kamome (Aden no)	97		
Kandy.....	80	M	
Karasu	144	Macao.....	13
Kareiko	73	Macaroni	213
Kasōtōtyū	7	Mahaweli ganga	65
Keigyo	8	Maldives.....	94
Khamsin.....	113	Makomo.....	10
Kinma	69	Mameluke	130, 173
Kina	89	Mango	47
King Farouk	132	Mangosteen	48
King Fuad	131	Mariette	147
Kōhii	71, 108, 138	Mastaba	18
Kohl	137	Mecca.....	108
Kōhokō	2	Medina	108
Kōkai	107	Mehemet Ali	130
Kokoyasi	33	Mehemet (Mohamed) Ali Mosque... 173	
Kokonoekazura	144	Memphius	187
Kōrimizu-uri	139	Messina Kaikyō	145
Kura	41	Miira	148
Kuzira	50	Minami Zyūzisei	24
		Minikoi	94
L		Misr.....	133
Laccadives.....	94	Mocha.....	107
Langset	46	Mocha Kōhii	108
Lateen sail	102	Mocha stone	109
Laterite	41	Mohamed (=Mehemet) Ali	130
Lesseps	117	Monte Nuova	199
Lester Institute.....	15	Moses	147
Lictor	205	Mosque	165
Lipari-Zima	197	Mozi kara Shanghai made	1

Murena.....	201, 218	Palaeopolis	201
Musée Huede	14	Palmyra palm	84
Museo Nazionale (Napoli).....	216	Pan-no-Ki	44
Mussolini	205	Papaya	48
		Para-gomu no Ki	43, 89
N		Parthenope	203
Nanyō Sugi	42	Passo Ramano	206
Naples.....	200	Pelusium	115
Napoli.....	200	Penang	51
Napoli Daigaku	202	Penang kara Colombo made	57
Napoli-wan	199	Penang Syokubutuen	56
Native Quarters	132, 135	Peradenya Syokubutuen.....	90
Natureyasi	125	Perahera.....	88
Neko no Haka.....	126	Perim	106
Nettai Kudamono	44	Piitan	10
Nile	144	Pineapple	49
Nile perch.....	149	Pizzo Falcone	201
Nilometer	145	Poinciana	143
Nokogiri-ei	98	Port Said	120
Nosuri.....	105	Port Said kara Cairo made	124
Nummulite	182	Port Said kara Napoli made	194
		Port Sudan	109
O		Port Tewfick	110
Obelisk	175, 176	Posilippo	199
Oogiyasi.....	32	Pozzuoli	199
Oki-no-Sima	1	Puteoli	200
On	133, 175	Pyramid (Gizeh no)	177
Opera house (Cairo no).....	174	Pyramid (Sakkara no).....	180, 189
Ostracon.....	149	Pyramid no Hattatu	179
P			
P. and O.	112		

R

Rafee Mosque	172, 190
Raffles.....	28
Raffles Hakubutukan	36
Raisukarei	73
Raitii	47
Rakuda	102, 141, 178
Ramayana	63
Rambutan	88
Ramses II	188
Red Sea	107
Reisi	47
Rōzaiku-Tinretukan	162
Rosetta stone	130, 144
Ruby	66
Ryūgan	47

S

Sabakubatta	109
Sagoyasi	42
Said Pasha	131
Saisyutō	1
Sakai	53
Sakkara	187
Saladin	130, 162, 170
Salerno-wan	198
Saluto Romano	206
Same (Aden no)	97
San Gennaro	204
Sabodilla	48
Sapoti	48

Sapphire	66
Saqqara (=Sakkra).....	187
Sarong	63
Scarab	192, 193
Scarabaeus.....	192
Seibo-Zyu	176
Seibutugaku-Kyōsitsu (Cairo no Daigaku)	161
Semagaributa	35
Semi	110
Semi no Nukeyara	20
Serapeum	114, 190
Shanghai	4
Shanghai Hakubutukan	15
Shanghai kara Hongkong made ...	16
Shanghai-Sizenkagakukenkyūzyo ...	12
Sheik Othman	105
Shoe flower	68
Sicilia	195
Sicily	195
Siira	59
Sinai-zan	110
Sinamokuzu	9
Sinkirō	108
Sintan-Daigaku.....	14
Sisaigyo	8
Snake charmer.....	70, 71, 190
Sokotra	95
Somei-yosino	2
Sorrento-hantō	198
Sower	98
Sphinx.....	185, (Ookisa) 187

Saint Januarius	207
Sripada	61
Stazione Zoologica	217
Step pyramid.....	180, 189
Stromboli	197
Strombolicchio	198
Syabon	7
Syaboten.....	211
Sycamore	176
Syenite.....	175, 176
Syokubutuen (Hongkong) 22, (Pe- nan, g56, (Peradeniya) 90, (Syō- nan).....	40
Syōnan Dōbutuen	38
Syōnan Hakubutukan.....	36
Syōnan-kō kara Penang made ...	49
Syōnan-si	27
Syōnan-si no Kudamono	44
Syōnan Syokubutuen	40
Suez.....	111
Suez kara Cairo made	127
Suez Unga.....	163
Suizokkan (Cairo no) 157, (Napoli no)	217
Sultan Hasan Mosque.....	170
Suri (Cairo no).....	141
Suzu	26

T

Takasegai	58
Taki Kōen (Penang)	56
Talipot palm.....	84

Tank (Aden no)	104
Tapioka	42
Tarayō	84
Taunagi	9
Temple of the Tooth (Kandy) ...	81
Temple tree	83
Tenaga-mizutengu	72
Tewfick	110
Tisitu-Hakubutukan (Cairo no) ...	160
Titoseran	53
Tobiuo	59
Tomato	215
Toricelli	194
Torrento.....	197
Tozandensya (Hongkong no)	21
Tulun Mosque	168
Tutankh-Amon	129, 150
(Haka)	151
Tya	71

U

Uma (Colombo no).....	69
Unga (Suez no)	112-120
Université l'Aurore.....	14
Uraeus	186
Usi-guruma	68
Utubo	201, 218

V

Vedda.....	65
Verdi	174
Vergilius	203

Vesuvio 199
 Vesuvius..... 199
 Villa Communale 208
 Virgilio 203
 Virgin's tree..... 176

W

Warazi 128
 Wata 125
 Wata-Hakubutukan (Cairo) 158

Y

Yagi no Kawabukuro 139
 Yashmak 137

Yasi-gami 34
 Yatude-aogiri 20
 Yatugasira109, 144

Z

Zakuro 142
 Zebu 69
 Zigyo 9
 Zikawei 13
 Zucchino 211
 Zuppa 211
 Zyagyō 9
 Zyōnai 10



(出版會承認)
No. 100606號

— 生物紀行 前篇 —

昭和十八年七月十日 初版印刷 (5,000部)
昭和十八年七月十五日 初版發行

著者 谷津直秀

發行者 東京市神田區神保町一ノ一
株式會社 三省堂
代表者 龜井 豐治

印刷者 東京市蒲田區仲六郎一ノ五
株式會社 三省堂蒲田工場
代表者 岸本 玄男
(會員番號東東569)

發行所 東京市神田區神保町一ノ一
株式會社 三省堂
(會員番號111501)

配給元 東京市神田區淺路町二ノ九
日本出版配給株式會社

(生物紀行・前)

定價三圓	賣價三圓十錢
特別行爲稅 相當額 十錢	

小野喜明・丘 直通著

生物心理學概論

A 5 判・一九四頁
定 價 二・四〇

世界的に最も權威あるコロンビヤ大學のC・J・ウォールデン他二氏の原著を良心的に邦譯せるもの。動物心理學の入門書として究竟!

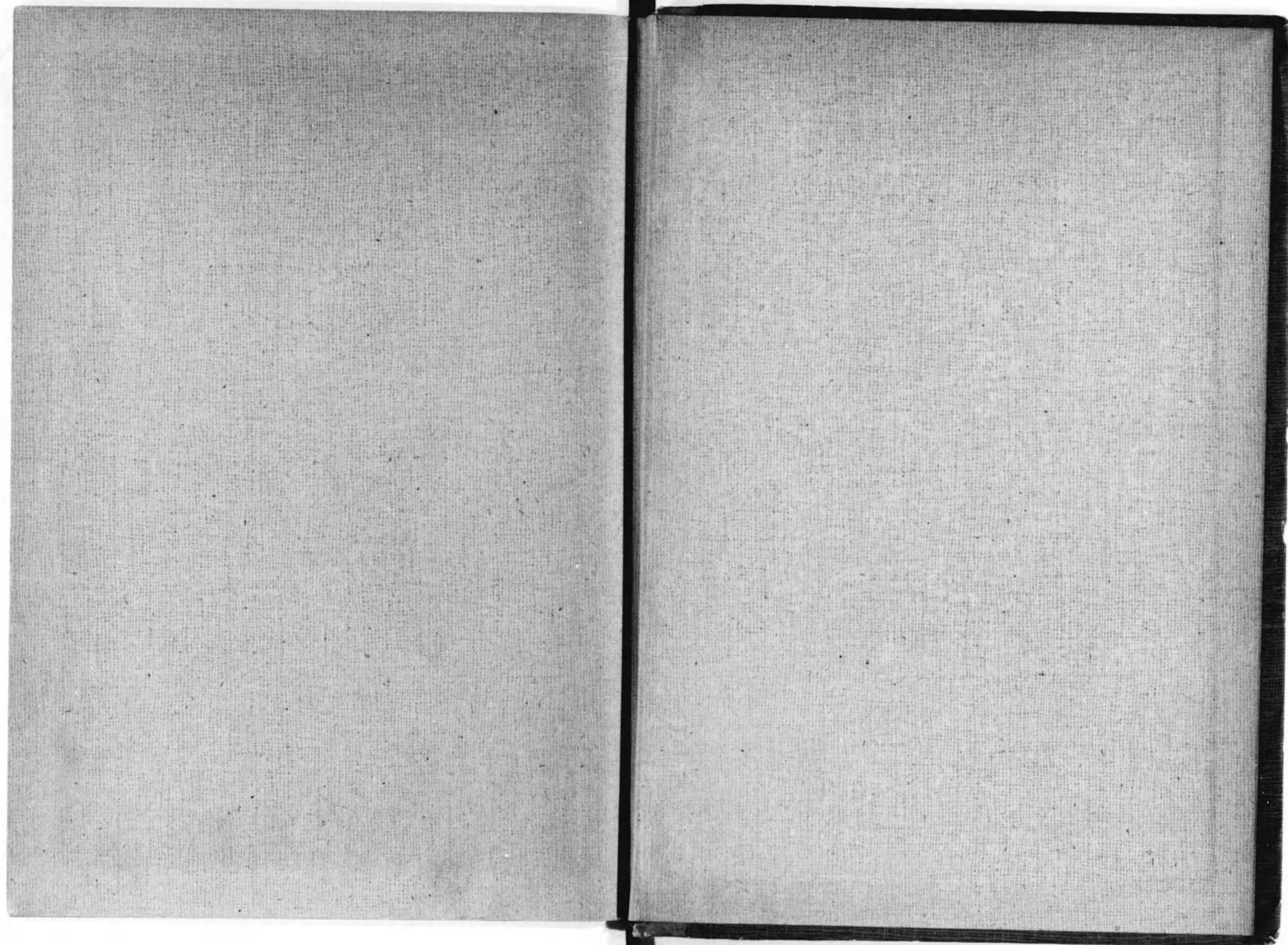
小野喜明・丘 直通著

生物心理學各論

A 5 判・四四二頁
定 價 六・〇〇

「生物心理學概論」の續篇として原著の各論を翻譯せるもの。生物界の各群につき感受能力と反應能力の典型的な資料を収めた貴重著。

三 省 堂 刊



402. 9-Y667



1200500742124

402.9
Y66

終